

2024年度新潟大学 海外留学ガイド



留学情報はここでCheck!

新潟大学の海外留学プログラムや留学奨学金の募集等について最新情報を確認できます。

新潟大学 国際交流・留学 ホームページ
▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/>

新潟大学 国際交流・留学 Facebookページ
▶ <https://www.facebook.com/niigata.univ.intl/>



ホームページ



Facebook

留学相談窓口はどこ?

五十嵐キャンパス内の留学交流推進課で、留学カウンセラー資格を持つ職員が皆さんからの相談をお待ちしています。電話やメールでの相談も可能です。

新潟大学学務部留学交流推進課 派遣留学係
五十嵐キャンパス内 総合教育研究棟D棟3階（※2024年移転予定）
TEL: 025-262-7332 / 7631 / 6797
E-mail: studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp

お問い合わせ



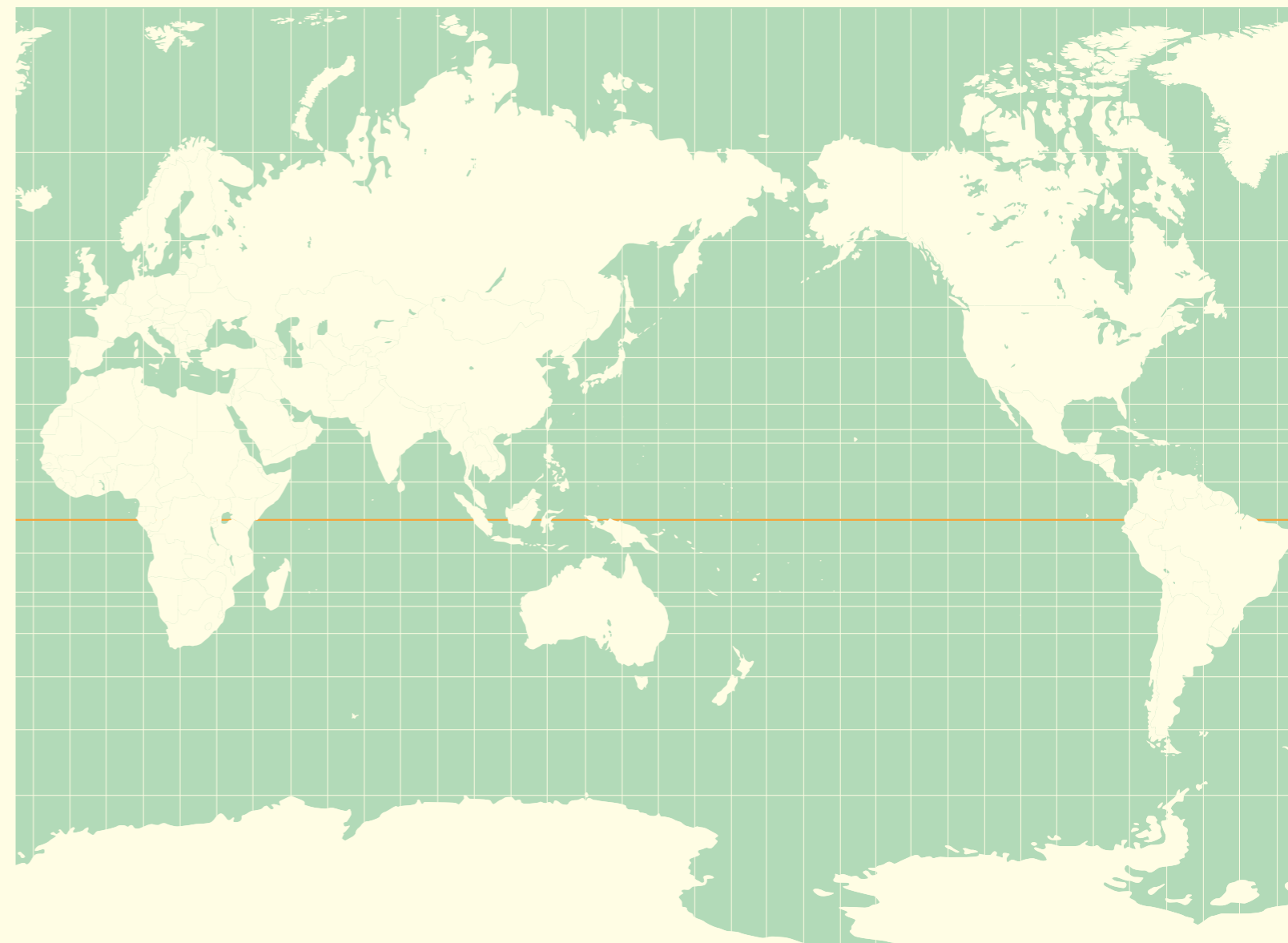
新潟大学学務部留学交流推進課
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL: 025-262-7332

※このパンフレットの掲載情報は2023年12月現在の情報であり、世界情勢の影響や研修先の都合等により変更となる場合があります。

2024年2月発行



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



CONTENTS

- | | | | |
|-----|--|-------|---|
| 2-3 | 新潟大学の留学制度について | 13 | ◇シンガポール・スプリングセミナー
◇オックスフォード大学スプリングセミナー |
| 4-5 | 海外留学フローチャート | 14 | ◇西シドニー大学国際交流プログラム
第2タームに参加可能なプログラム |
| 6 | 海外留学に向けて | 15 | 専門分野プログラム |
| 7 | 2024年度 留学関連年間スケジュール | 16-17 | 交換留学 |
| 8-9 | ショートプログラム | 18-19 | 留学の奨学金について |
| 10 | ◇北京サマーセミナー
◇韓国サマーセミナー | 20-21 | 留学の安全・危機管理について |
| 11 | ◇カナダ・サマーセミナー
◇オタゴ大学英語研修 | 22-23 | 留学体験談 |
| 12 | ◇オーストラリア多文化共生社会体験プログラム
◇フィリピンALLC英語研修 | | |



新潟大学の留学制度について

短期から長期まで、様々な留学プログラムを提供しています

新潟大学では、留学の目的や学習段階に応じて、留学の機会を幅広く提供しています。より多くの学生に国際経験の場を提供するために、海外が初めてでも参加しやすい「ショートプログラム」から、海外で各学部での専門分野を短期間学ぶ「専門分野プログラム」、さらには1学期間または2学期間の「交換留学」など、多様な留学プログラムを用意しています。



1 ショートプログラム

▶ 1週間から5週間程度

＼ まずは留学を体験してみよう！ /

語学研修・異文化体験等を目的とした、全学部の学生を対象としたプログラムです。海外の大学の学生寮に滞在したり、ホームステイをして現地のファミリーと交流したり、海外の生活や異文化に触れることができます。

(例)



北京サマーセミナー



オタゴ大学英語研修

シンガポール・スプリングセミナー



オックスフォード大学スプリングセミナー

2 専門分野プログラム

▶ 1週間から数か月

＼ 海外で専門分野を学ぼう！ /

各学部で用意している、それぞれの専門分野を学ぶためのプログラムです。たとえば、海外の医療現場で臨床研修を経験したり、企業でのインターンシップを経験したり、各専攻に合わせたプログラムが組まれています。

(例)



スリランカでの海外研修(理学部)



ハノイ医科大学病院歯科見学(歯学部・ベトナム)

グローバル農力養成プログラム(農学部・トルコ)



G-DORM 学生交流プログラム(工学部)

こんな学生に
オススメ!

- 海外に行ってみたい
- 語学を集中的に学びたい
- 異文化に触れてみたい

こんな学生に
オススメ!

- 海外で専門分野の実習をしたい
- 同じ分野を学ぶ海外の学生と交流したい
- 国際会議で発表したい

Pick Up!

留学のための語学力準備について

先輩の声

工学部 河口 真優 さん

2021年8月 オタゴ大学英語研修オンライン
2023年2月～2023年11月 シドニー工科大学交換留学
(2022年4月 IELTS 6.5を取得し、正規科目履修コースで留学)

2021年の大学入学時、全く英語を話すことが出来なかった私が、どのように語学の準備をして、シドニー工科大学でも1学期目から学部の授業(工学系)を現地学生に混ざり勉強することができたかをご紹介します。

英語漬けにする:入学後からオンライン英会話を利用して英会話の練習を毎日していました。勉強以外にも、英語の映画やテレビを見たり音楽を聴いたり、大学の授業以外、日本語を使う機会が生活の中にほとんどない状態でした。

大学が提供しているものを活用する:新潟大学から提供されているFL-SALKやロードアイランド大学との交流イベント「しゃべり場」などを英語を話す機会として

積極的に利用しました。また、大学1年生の時にはiStepという授業を受講し、留学前にも多くの英語の授業を履修して話す練習をしました。iStepでは英語でのエッセイの書き方やプレゼンテーションの仕方といった留学先で必要になる技能をネイティブの先生から全て英語で学ぶことが出来ました。iStepは少人数のクラスなので先生方から手厚いフィードバックを貰っていたことがとても良かった点です。

スコアアップのための勉強をする:初めてIELTSを受験した時(2021年12月)は、明確な目標も試験についての知識もなく受験し、OA5.5という結果で、かなり落ち込んだのを覚えています。その後、2回目の受験までの約3か月は、1回目の反省を受けてOA6.0をはっきりと目標に掲げ、テストで得点できる勉強に切り替えました。具体的には、過去問を解くだけでなく、一度解いた問題を時間をかけて解析し復習したり、IELTSにはIELTSでよく使われる単語があるため対策用の単語帳をひたすら周回し、毎日リーディングの音読を繰り返すなど、毎日ひたすらテストに向けて勉強し、目標を上回るIELTS 6.5に達することができました。



3 交換留学

▶ 1学期間または2学期間

＼ 本格的に外国語や専門分野を学ぼう！ /

世界中の大学との間で結ばれた交流協定にもとづき、海外の協定校で交換留学生として外国語や専門科目を学ぶ制度です。留学先では、現地の学生や世界各国からの留学生とともに学ぶことができます。

(例)



仁荷大学(韓国)



ロードアイランド大学(アメリカ)



ミュンスター大学(ドイツ)



ナント大学(フランス)



シドニー工科大学(オーストラリア)



北京大学(中国)

こんな学生に
オススメ!

- 飛躍的に語学力をアップさせたい
- 専門分野への理解をさらに深めたい
- 留学経験を将来に活かしたい

体験者の声



経済学部 長谷川 直人 さん

2022年2月～3月 G-DORM学生交流プログラム
2022年3月 シンガポール・スプリングセミナー・オンライン

高校時代に行ったスイス留学中に英語と会計に興味を持ち、以来将来は会計士として国際的に活躍するために英語圏の大学院への進学を意識しており、新潟大学入学以降、英語学習や留学生との交流の中で、自分の英語力をさらに向上させる必要があると感じると同時に、様々な文化的背景を持つ人たちと関わることで他者理解能力に磨きをかけたいと思うようになりました。

1年次にはG-DORMとシンガポール・スプリングセミナー(SSS)に参加しました。SSSでは、英語研修以外にも、日系グローバル企業で活躍されている方から話を聞く機会が設けられており、海外で働くことへのイメージ形成に役立ちました。ショートプログラムへの参加を通して、語学力だけではなく、専門性と積極性を身に付けることが、国際的な分野で活躍するためには必要不可欠であると学びました。

2年半の英語学習を経てからの留学生活スタートとなりましたが、URIでの生活は本当に充実しています。学修面では、ビジネス系科目とコミュニケーションの授業を履修しています。私の履修している授業は小規模のものが多いのですが、そこでは発言機会が多く与えられ、先生や学生との双方向のやりとりができる点を気に入っています。また私は学生団体に所属しており、種々雑多な背景を持つ人が共存するアメリカで多様性について考えることは非常に有意義であり、私の思考や視野が広がっているように感じています。

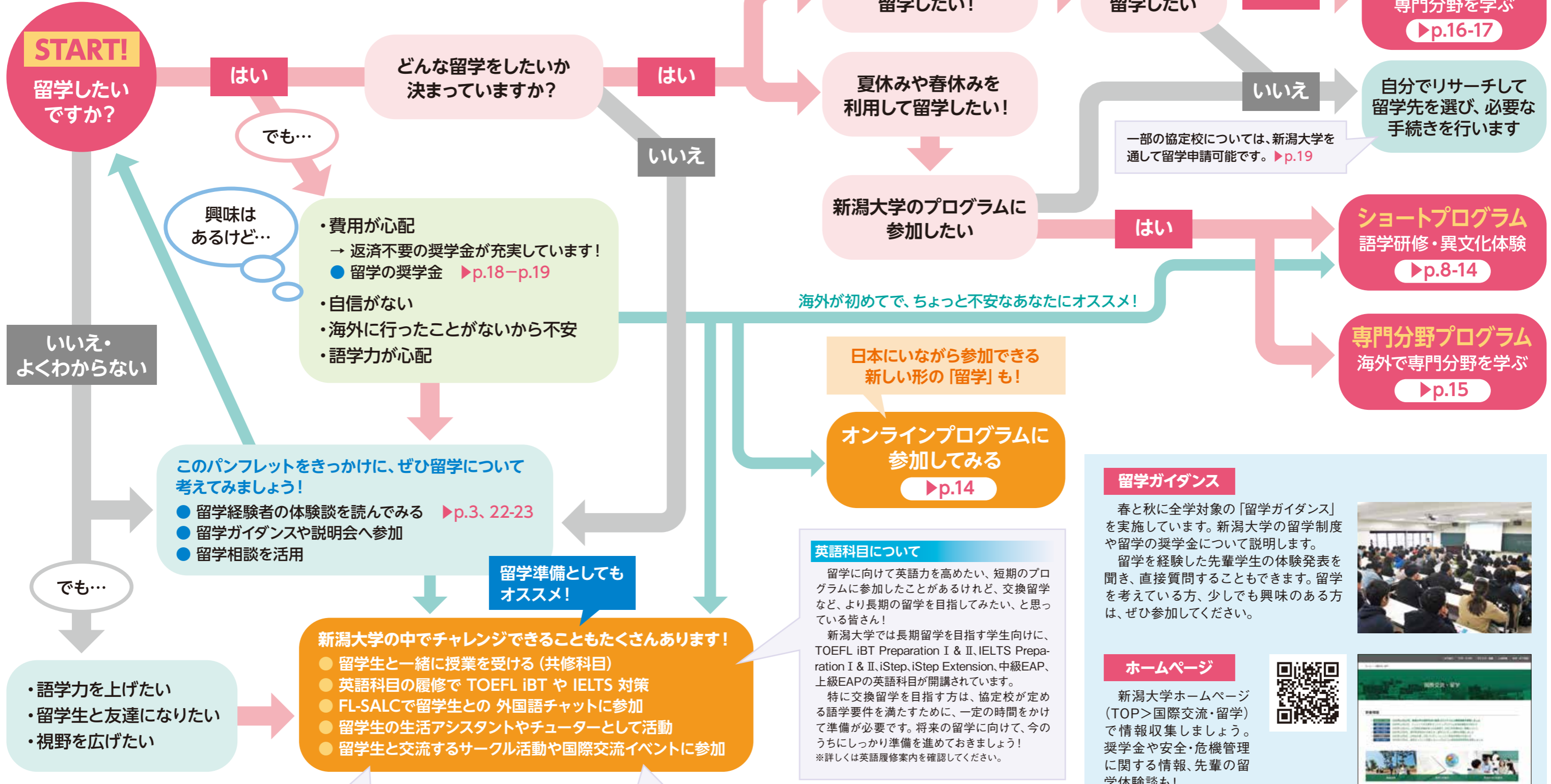
留学に興味がある方は思い切って挑戦してみてください。留学を通して得た経験や人とのつながりは今後の人生を考える上で一つの指針となるはずです。言語面や文化面などで苦労することもあると思いますが、それを含めてかけがえのない経験となるでしょう。



ロードアイランド大学の友人と

海外留学フローチャート ~どんな留学がしたいか考えてみましょう~

フローチャートの質問に答えて進み、自分にどんな留学が向いているか、考えてみましょう!



このパンフレットをきっかけに、ぜひ留学について考えてみましょう!

- 留学経験者の体験談を読んでもみる ▶p.3, 22-23
- 留学ガイダンスや説明会へ参加
- 留学相談を活用

新潟大学の中でチャレンジできることもたくさんあります!

- 留学生と一緒に授業を受ける (共修科目)
- 英語科目の履修で TOEFL iBT や IELTS 対策
- FL-SALCで留学生との 外国語チャットに参加
- 留学生の生活アシスタントやチューターとして活動
- 留学生と交流するサークル活動や国際交流イベントに参加

留学生との共修科目について

新潟大学個性化科目 (Gコード科目) として、留学生と一緒に学ぶことができる共修科目が開講されています。異なるバックグラウンドの学生が集まり、様々な意見や考え方に触れることができるチャンスです。海外に留学したらこんな感じなのかな?とプチ留学体験ができるかも!

<共修科目の例>

アクティブラーニング、多文化間共修、グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーション、留学生との協働学習を通じた異文化理解

※詳しくは令和6年度授業科目のシラバスを確認してください。

FL-SALCとは?

中央図書館ラーニング・コモンズ2階にある外国語学習支援スペースFL-SALC (Foreign Language Self-Access Learning Center エフエル・サルク) では、様々な外国語学習関連の図書や教材が揃っており、皆さんの自主的な学習をサポートしています。英語や初修外国語を使って留学生と楽しく会話したり、テーマ別の学習グループに参加したり、国際交流、留学準備の場としてぜひ積極的に活用しましょう! 英語学習相談も受け付けています。



FL-SALC X

英語科目について

留学に向けて英語力を高めたい、短期のプログラムに参加したことがあるけれど、交換留学など、より長期の留学を目指してみたい、と思っている皆さん!

新潟大学では長期留学を目指す学生向けに、TOEFL iBT Preparation I & II、IELTS Preparation I & II、iStep、iStep Extension、中級EAP、上級EAPの英語科目が開講されています。

特に交換留学を目指す方は、協定校が定める語学要件を満たすために、一定の時間をかけて準備が必要です。将来の留学に向けて、今のうちにしっかり準備を進めておきましょう!

※詳しくは英語履修案内を確認してください。

留学ガイダンス

春と秋に全学対象の「留学ガイダンス」を実施しています。新潟大学の留学制度や留学の奨学金について説明します。留学を経験した先輩学生の体験発表を聞き、直接質問することもできます。留学を考えている方、少しでも興味のある方は、ぜひ参加してください。



ホームページ

新潟大学ホームページ (TOP>国際交流・留学) で情報収集しましょう。奨学金や安全・危機管理に関する情報、先輩の留学体験談も!



留学相談

いろいろ調べてみたけど、まだわからないことがある方は…

五十嵐キャンパスの留学交流推進課では、海外留学を希望する学生の皆さんのために留学相談を受け付けています。JAOS (一般社団法人海外留学協議会) 認定留学カウンセラー資格を有する担当職員が皆さんからの相談をお待ちしています。メールや電話、オンライン (Zoom) での相談も可能です。ぜひご利用ください。

海外留学に向けて

～在学中に短期留学も交換留学も実現したい!～






※あくまでも一例ですので、この限りではありません。

年次				項目	内容
1年次	2年次			留学情報収集 留学計画	<ul style="list-style-type: none"> ● 留学ガイダンスや募集説明会に参加し、情報を得る。 ● 国際交流・留学ホームページにアクセス ▶ https://www.niigata-u.ac.jp/international/ ● (独)日本学生支援機構 (JASSO) の「海外留学支援サイト」や、各国大使館のホームページで、留学情報や奨学金の情報を得る。 ▶ JASSO海外留学支援サイト (https://ryugaku.jasso.go.jp/) ▶ JASSO留学ガイドブック「私がつくる留学」 (https://ryugaku.jasso.go.jp/publication/guidebook/) ▶ 駐日外国公館ホームページ (https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/embassy.html) ● 留学交流推進課の留学相談を利用 ● 先生や先輩、家族に相談 ● 夏休みに、大学主催のショートプログラム・オンラインプログラムに参加してみる。 ● 交換留学学内選考に向け、準備を開始する。特に、必要な語学能力試験の受験準備は早めに開始! ● 所属学部・研究科で、交換留学した場合の単位認定が可能かどうか、また、卒業までの学習計画を相談する。 ● FL-SALC (中央図書館内) で留学生との外国語チャットに参加したり、留学生の生活アシスタントやチューターを経験したりするなど、色々な活動にチャレンジする。 ● 留学奨学金について情報収集し、申請を行う。
<div style="border: 1px dashed red; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f8d7da;"> <p>留学のタイミングは人それぞれですが、早めの計画で選択肢が広がります。まずは1年生のうちに留学をオススメ!</p> </div>					
1年次	2年次	3年次		交換留学学内募集への応募	<p>開始時期により募集時期が異なるので、注意が必要。留学ガイダンスへの参加、留学交流推進課や各学部・研究科窓口で、常に最新情報を得ておく。</p> <p>(参考) 留学交流推進課が募集している大学間交流協定校の募集時期 8～9月開始の場合 → 前年10～11月頃に募集 2～3月開始の場合 → 前年6～7月頃に募集</p>
				交換留学準備	<ul style="list-style-type: none"> ● 留学手続きオリエンテーションへの参加 ● 新潟大学派遣留学支援制度 (セメスター留学奨学金) 申請 ● 協定校への出願 ● 所属学部・研究科へ留学申請書を提出 ● 旅券 (=パスポート) ・査証 (=ビザ) の取得 ● 渡航前オリエンテーションへの参加 など
				交換留学開始	留学先大学へ出発
	2年次	3年次	4年次	帰国後	<ul style="list-style-type: none"> ● 単位認定の申請 ● 留学体験談の執筆、留学体験発表 など



2024年度 留学関連年間スケジュール

※現時点(2023年12月現在)での予定であり、時期等は変更になることがあります。詳細が決まり次第、「国際交流・留学」ホームページに掲載するとともに、学務情報システムの連絡通知によりメールでお知らせしますので、定期的にご確認ください。

月	留学ガイダンス等	ショートプログラム ※学部を問わず参加可能なプログラムについて掲載しています。	大学間交流協定校への 交換留学	留学奨学金
4	留学ガイダンス・留学体験発表会 (4月上旬～中旬) まずはガイダンスに参加してみよう!	夏季ショートプログラム 募集説明会 (4月中旬～下旬)		○交換留学等を対象としたセメスター留学奨学金については、交換留学の募集説明会で詳しく説明します。 ○ショートプログラム等で利用可能な奨学金については、HPや各プログラムの募集説明会で確認してください。
5		夏季ショートプログラム 参加申込期限 (5月上旬～下旬) GW明けに締切のプログラムも。申込みのチャンスを逃さないようスケジュールをチェックしよう!		新潟大学派遣留学支援制度 (セメスター留学奨学金) 学内応募締切 ※交換留学等により1学期以上留学することが決まっている学生が対象。各学部学務係で書類提出期限を確認してください。
6		第2タームに参加可能な ショートプログラム実施 (6月中旬～8月中旬) ※募集・申込みは前年度の1～2月頃。他の授業に支障がないことを十分確認の上、申し込んでください。	2025年春派遣生の 募集開始・募集説明会	
7	海外渡航前安全管理 オリエンテーション		2024年秋派遣生向け 渡航前オリエンテーション	
8		夏季ショートプログラム実施 (8月上旬～9月下旬)	2024年秋派遣生 順次、留学開始	
9			2025年春派遣生向け 留学手続きオリエンテーション	
10	留学ガイダンス・留学体験発表会 (10月上旬～中旬)	春季ショートプログラム 募集説明会 (10月上旬～下旬)	2025年秋派遣生の 募集開始・募集説明会	
11		春季ショートプログラム 参加申込期限 (10月下旬～12月上旬)		新潟大学派遣留学支援制度 (セメスター留学奨学金) 学内応募締切 ※交換留学等により1学期以上留学することが決まっている学生が対象。各学部学務係で書類提出期限を確認してください。
12	海外渡航前安全管理 オリエンテーション			トビタテ! 留学JAPAN新・日本代表プログラム 募集開始・学内募集説明会
1			2025年春派遣生向け 渡航前オリエンテーション	中国政府奨学金 (駐新潟総領事館推薦) 学内応募締切
2			2025年秋派遣生向け 留学手続きオリエンテーション	トビタテ! 留学JAPAN新・日本代表プログラム 学内応募締切
3		春季ショートプログラム実施 (2月中旬～3月下旬)	2025年春派遣生 順次、留学開始	新潟大学派遣留学支援制度 (セメスター留学奨学金) 学内応募締切 ※交換留学等により1学期以上留学することが決まっている学生が対象。各学部学務係で書類提出期限を確認してください。

1 ショートプログラム

◆学部を問わず参加可能なショートプログラム一覧◆

ここに掲載しているプログラムは、学部を問わず、全学部の学生が申し込み可能なプログラムです。
学部・研究科で実施するプログラムで当該学部・研究科所属学生のみが対象となるものについては、
各学部・研究科学部係にお問い合わせください。

※参加費用の変動について※

記載されている参加費用の目安は2023年度実施時の実績であり、募集時の国際情勢や為替レートによって大きく変動する可能性があります。

一定の要件を満たす方は、返済不要の奨学金を受給することができます(プログラムにより人数上限あり)。奨学金についての詳しい情報はp.18-p.19へ!

実施元	プログラム名	研修先国・地域	研修先大学等	実施予定期間(2024年度)※1	募集開始時期(予定)	申込締切(予定)	募集定員	単位付与・認定	参加費用の目安※2	奨学金(要件あり)	概要	問い合わせ先
夏季実施プログラム(予定)												
国際センター	北京サマーセミナー	中国	北京師範大学	8月上旬～8月下旬(約3週間)	4月	5月中旬	募集説明会にて確認してください	有	募集説明会にて確認してください	6万円	→詳細について、p.10で紹介!	学務部 留学交流 推進課
	韓国サマーセミナー	韓国	漢陽大学	8月上旬～8月下旬(約2週間)	4月	5月下旬	15名程度	有	プログラム費用 2,000,000ウォン(※2023年度:約31万円)	7万円	→詳細について、p.10で紹介!	
	カナダ・サマーセミナー	カナダ	アルバータ大学	9月上旬～9月下旬(約4週間)	4月	5月中旬	15名程度	有	プログラム費用 4,430カナダドル(※2023年度中止)	8万円	→詳細について、p.11で紹介!	
	オタゴ大学英語研修	ニュージーランド	オタゴ大学	8月中旬～9月下旬(約5週間)	4月	5月下旬	15名程度	有	プログラム費用 4,914ニュージーランドドル(※2023年度:約77万円)	7万円×2回	→詳細について、p.11で紹介!	
	西シドニー大学国際交流プログラム	オーストラリア	西シドニー大学	8月～9月(オンライン研修2週間+現地研修2週間)	4月	5月下旬	20名程度	有	プログラム費用 4,140オーストラリアドル(※2023年度:約64万円)	7万円	→詳細について、p.14で紹介!	
人文学部	ビーレフェルト大学ドイツ語研修	ドイツ	ビーレフェルト大学	8月上旬～8月下旬(約4週間)	4月	5月	6名	一部有	募集要項で確認してください	8万円	協定校が提供するインターナショナル・サマーコースに参加、さまざまな国の学生とともにドイツ語を学ぶ。	人文学部
理学部	オーストラリア・カーティン大学英語研修	オーストラリア	カーティン大学	8月下旬～9月上旬(約3週間)	4月	5月下旬	15名程度	一部有	50万円程度(※2019年度実施時の実績に基づいた費用です)	7万円	世界中から集まる留学生と共に学ぶ短期集中英語研修。ホームステイで生きた英語とオーストラリア文化を学ぶ。	理学部
外部	Campus France (フランス政府留学局)※短期留学プログラム 夏季セッション ※フランスの高等教育機関への留学推進、留学生受け入れ支援、国際学術交流のためのフランス政府公式機関	フランス	サン＝ティエンヌ大学、グルノーブル大学等の大学付属語学センター	8月～9月(約4週間)	4月	5月	特になし	一部有	2023年夏プログラム費用: 学生寮滞在の場合:2,415ユーロ ホームステイの場合:2,875ユーロ (往復航空券代等は含まない)	8万円	フランス語研修の他、各種アクティビティへの参加。宿泊についてはホームステイか学生寮を選択可能。	学務部 留学交流 推進課
春季実施プログラム(予定)												
国際センター	オーストラリア多文化共生社会体験プログラム	オーストラリア	クイーンズランド工科大学	2月中旬～3月中旬(約5週間)	10月	11月上旬	20名程度	有	プログラム費用 2,140オーストラリアドル(※2023年度:約69万円)	7万円×2回	→詳細について、p.12で紹介!	学務部 留学交流 推進課
	フィリピンALLC英語研修	フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学	2月中旬～3月下旬(約5週間)	10月	11月上旬	10名程度	有	プログラム費用 800 USドル(※2023年度:約44万円)	7万円×2回	→詳細について、p.12で紹介!	
	シンガポール・スプリングセミナー	シンガポール	東南アジア教育大臣機構等	2月下旬～3月上旬(約10日間)	10月	11月上旬	20名程度	有	プログラム費用 1,614シンガポールドル(※2023年度:約41万円)	10万円	→詳細について、p.13で紹介!	
	オックスフォード大学スプリングセミナー	イギリス	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	3月中旬～3月下旬(約2週間)	10月	11月上旬	20名程度	有	プログラム費用 2,460ポンド(※2023年度中止)	8万円	→詳細について、p.13で紹介!	
理学部	日台学生交流ショートプログラム・台湾スプリングセミナー	台湾	中原大学、国立清華大学、国立彰化師範大学、国立台湾師範大学、国立成功大学	2月～3月(約4～5週間)	10月	11月下旬～12月上旬	14名程度(派遣先により異なる)	有	15～25万円程度(派遣先により異なる)	6万円×2回	平成20年度から毎年継続して実施。台湾の5つの大学の中から1か所を選び4～5週間の語学研修・台湾文化体験ができる。場合によって、オンライン授業の可能性もあり。	理学部
工学部	マレーシア派遣プログラム	マレーシア	マレーシア工科大学(予定)	2月下旬～3月(約5週間)	10月	11月上旬	6～8名	有	50万円程度	7万円×2回	英語研修と大学や企業等訪問を組み合わせたプログラム。将来国際社会で活躍するために必要な英語でのコミュニケーション能力を向上させるとともに、今後の学習や長期の留学に対する意欲を高めることを目的とする。	工学部
外部	Campus France (フランス政府留学局)※短期留学プログラム 春季セッション ※フランスの高等教育機関への留学推進、留学生受け入れ支援、国際学術交流のためのフランス政府公式機関	フランス	サン＝ティエンヌ大学、グルノーブル大学等の大学付属語学センター	2月下旬～3月下旬(約4週間)	10月	11月中旬	特になし	一部有	2023年春プログラム費用: 学生寮滞在の場合:2,415ユーロ ホームステイの場合:2,875ユーロ (往復航空券代等は含まない)	8万円	フランス語研修の他、各種アクティビティへの参加。宿泊についてはホームステイか学生寮を選択可能。	学務部 留学交流 推進課
第2ターム実施プログラム(予定)												
国際センター	オーストラリア多文化共生社会体験プログラム(第2ターム実施)	オーストラリア	クイーンズランド工科大学	6月中旬～7月下旬(約5週間)	1月	2月上旬	20名程度	有	プログラム費用 1,995オーストラリアドル(※2023年度:約64万円)	7万円×2回	春季に実施しているプログラムの第2ターム版。現地家庭にホームステイしながら、オーストラリア文化について学び、多文化共生について理解を深める。	学務部 留学交流 推進課
	韓国・仁荷大学サマースクール(第2ターム実施)	韓国	仁荷大学	7月下旬～8月中旬(約3週間)	1月	2月下旬	15名程度	有	プログラム費用:1,450 USドル(※2023年度:約28万円)	7万円	大学間交流協定校である仁荷大学のインターナショナル・サマースクールに参加。研修は英語で行われ、「英語も韓国語も」学ぶことができる。	

◆過去に実施したプログラムの募集要項等については、「新潟大学 国際交流・留学」HPで確認できます。
▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/short-term/>



※1 本学の授業期間や試験期間に実施日程が重なるプログラムへの申込にあたっては、授業等に支障のないことを必ず確認してください。

※2 特に注意書きのない場合、参加の目安の金額には往復航空券代、宿泊費、現地での授業料(プログラム参加費)を含みます。パスポート取得にかかる費用、保険や危機管理サービスにかかる費用、国内旅費、小遣い等は別途必要になります。



北京サマーセミナー

達成目標

- 実践的な中国語のコミュニケーション能力を高める!
- 友達を作って、中国語で語り合う!
- 社会、人、文化に肌で触れて、生きた中国を知る!

実施期間: 8月上旬～8月下旬 約3週間(予定)

滞在: 北京師範大学学内留学生宿舎

研修内容

中国の首都・北京にある北京師範大学で集中的に中国語を学ぶプログラムです。3週間合計50時間程度の学習カリキュラムにより、着実に中国語の運用能力(特に、聞く・話すスキル)を向上させることができます。クラスは能力別に編成された10名以下の少人数制で、新潟大学の学生のために開設される特別クラスです(参加人数も異なります)。外国人に中国語を教える知識と経験を豊富に持つネイティブ教員が担当し、日本語を使わないダイレクトメソッドで講義が行われます。さらに、歴史文化や経済分野についての多様な研修が含まれます。週末には、故宮や万里の長城を訪れて悠久の歴史と文化に触れ、さらに京劇鑑賞や下町散策を通じて魅力あふれる北京を堪能することができます。

研修先について

北京師範大学(Beijing Normal University) 1902年に設立された京師大学堂師範館を前身とする中国国内における教育分野のトップ大学です。100年以上の歴史を

持ち、教育分野で数多くの人材を輩出しています。校訓は「学為人師、行為世範(学びて世の人の師となり、行いて世の人の範となる)」です。留学生向け中国語教育のプログラムも充実しており、快適な留学生寮を備えています。また、北京市内の散策にとっても便利な新街口というエリアに位置しています。

スケジュール(予定)

- 月～金 中国語語学研修 (午前4H、午後2H)
- 万里の長城、故宮、盧溝橋等を見学
- 文化鑑賞・下町散策



悠久の歴史に触れる(北京・故宮博物院)

担当教員から一言

(干野真一准教授・真水康樹教授)
国際社会における重要性がますます高まっている中国語には、「漢字を使うので学びやすい」、「中国の発展に伴う国際的需要の急増」、「悠久の歴史を持つ漢字文化圏のルーツを理解する」等のメリットがあります。「綺麗なマンダリン(北京語)ですね」と言われるのは、中国語を話す者にとっては最高の褒め言葉と言えるでしょう。その響きは、「素敵なクイーンズ・イングリッシュですね」と言われるのに通じるものがあります。800年の首都・北京という最高の環境で中国語を学びましょう。現地滞在の序盤には引率教員が同行して現地での生活面や中国語の学習面で、必要に応じて助言を行います。さらに研修前後に実施する学力測定により、長期的な観点からの学習指導も行います。本研修は、Gコード科目の単位として認定されます。この「北京サマーセミナー」は過去、2019年まで26年にわたって実施されてきたものです。過去の参加者はのべ400人を超え、セミナー参加者の中からは、北京大学をはじめとした中国の大学への長期留学を実現しています。

中国語をモノにしたいという諸君の参加を歓迎します。



やる気のある人だけのクラスだから、効果的!

ここがオススメ!(参加学生の声)

- ◎短期間で集中してネイティブの先生の質の高い授業を受けることができたことが一番充実していたように思う。自分から中国語を使うという姿勢を作ることができたことを誇りに思う。
- ◎週末には歴史的建造物を見学して、中国の文化に触れ、自由行動では、実際に店員さんと中国語で会話をするなど、存分に中国を感じることができた。
- ◎セミナー参加前は中国語力がほとんどゼロだったが、授業や食事時の会話などで話す機会が多かったため見違えるくらい話せるようになり、発音も上達した。また、周りからの支えを受けつつ自律して生活できたのでメンタル面を鍛える良い機会となった。



韓国サマーセミナー

達成目標

- 少人数の韓国語授業で実践的な韓国語力UP!
- 韓国の文化について学び、理解を深める

実施期間: 8月上旬～下旬 約2週間(予定)

滞在: 漢陽大学学生寮

研修内容

漢陽大学のソウルキャンパスで韓国語と韓国文化を学ぶ、2週間集中のサマースクールです。韓国語の授業は、初級から上級までレベル別に分けられた少人数クラスで受講します。また、漢陽大学の現役学生がチューターとなる韓国語チュータリングにより、韓国語授業では教えてもらえない言葉などを教えることができます。その他、韓国の伝統文化に触れる韓服着付け・茶道体験、伝統舞踊授業、韓国の今がわかる韓流体験トリップなどに参加します。

研修先について

漢陽(ハニャン)大学

1939年に東亜工科学院として設立され、建国技術学院、漢陽工科大学を経て1959年に漢陽大学校となりました。現在ソウルと安山にキャンパスを構えています。校訓は「愛の実践」、シンボルは「獅子」。韓国有数の名門大学であり、特に工学分野が有名です。政財界、芸能、スポーツ界などにも多くの著名人を輩出しています。ソウルキャンパスは、大学構内に地下鉄駅が乗り入れている(2号線「漢陽大」駅)な

ど、交通至便です。

新潟大学と漢陽大学は、2009年に大学間交流協定を締結しており、より長期の留学を希望する学生は、1～2学期間、交換留学制度により留学することが可能です。

スケジュール

※漢陽大学の都合により、セミナー開始日が新潟大学の第1学期試験期間中となる可能性があります。日程は確定次第ホームページに掲載します。申込みの際には、試験に支障のないことを必ず確認してください。

- 月～土 (午前)韓国語授業 (午後)韓国語チュータリング
- Special Activity(文化体験)にも参加します。



韓服(ハンボク)を着て記念撮影



韓国料理実習(トッポギとチヂミ)

担当教員から一言

(藤石貴代准教授)
新潟から2時間で行ける「一衣帯水」の隣国。韓国と日本は文化・経済・政治的に関係が深く、距離的にも心理的にも「近くて近い国」になれるはず。韓国人の勤勉さ、前向きで積極的な人生への態度や人間関係、何より親切(おせっかい?)で人懐っこい「情」の世界には、「空気を読む」日本的コミュニケーションと正反対の解放感と人間味があふれています。食べ物も美味しい。引っ込み思案のあなたにもきっと勇気と元気を与えてくれることでしょう。日本語と韓国語は語順も同じ、語彙も同じ漢字語が多く、文字と発音規則さえ習得すれば、外国語のなかでも私たちが最も学びやすい言語です。言葉を知ることとは心を知ること。何はともあれ「百聞は一見に如かず」。この機会にぜひ韓国を体験してみてください。きっともう一度(以上)、行きたくなくなります。

韓国プログラムのここがオススメ!

このプログラムの大きな魅力は、①熟練した韓国教師によるダイレクト・メソッド(日本語を一切使わない)の韓国語授業、②充実した韓国文化体験プログラム、③漢陽大学現役学生によるチューター制度(トウミ制度)です。特に、チューターからは学習面、生活面の両方においてサポートを受けられ、プログラム参加学生に大変好評です。

交換留学制度による1～2学期間の本格的な留学を考えている学生におすすめるプログラムです。

2週間の現地滞在を通して、インターネットやテレビで知る情報とは異なる、韓国人の生活や考え方に触れることができるでしょう。



漢陽大学にて



カナダ・サマーセミナー

達成目標

- カナダの歴史と文化について学ぶ
- リスニング、スピーキングを鍛えて英語の総合力をUP!
- ホームステイにより異なる文化に対する理解を深める

実施期間：9月上旬～9月下旬 約4週間(予定)

滞在：ホームステイ

担当教員から一言

(ハドリー浩美准教授)

新潟大学とアルバータ大学は1995年に交流協定を結び、今までに約500名の新大生がこのサマーセミナーに参加しました。この機会を長期の留学に結びつけた先輩も少なくありません。

英語研修はレベル別クラスに分かれて行われ、授業ではグループディスカッションやプレゼンテーションなどに能動的に参加することが求められます。課外学習にも参加して、他国の学生との交流を深めましょう。さらに、文化施設見学等の課外学習が予定されており、授業の予習・復習、毎日の課題をこなしていると、あっという間に1日が終わります。

セミナー期間中は、アルバータ大学の学生が新大生のグループリーダーとなり、「English Only Policy」により、生活上のケア・連絡事項などをすべて英語で行います。日本以外の国から来ているクラスメイトとの交流やホームステイ先での生活など、この海外体験はきっと忘れられない思い出になり、視野も大きく広がることでしょう。

カナダプログラムのここがオススメ!

アルバータ大学のあるエドモントン市は、都会でも田舎でもなく比較的治安の良い街です。各家庭に1～3人ずつのホームステイで、現地に住む学生たちと同じように生活し、郊外の住宅地からバスや電車を使って通学します。一日中英語を話す環境下での暮らしには、授業で学んだ英語をより実践的に使える機会が豊富にあります。また、日本とは異なる生活習慣や食事を体験することで、多文化社会であるカナダでの暮らしを実感できます。

現地での生活をサポートしてくれるアルバータ大学生との交流も魅力の一つです。困った時の相談相手となってくれるのはもちろんですが、実際にアルバータ大学に通う学生との意見交換を通じ、カナダや現地の大学生活についてより深く理解することができます。彼らとの交流は貴重な経験となるはずです。

カナディアンロッキーツアーでは、雄大な自然に囲まれたバンフ国立公園を訪れ、ハイキングやカヌーでアウトドアに親しみ、リゾート地の中心街でのショッピングなどを満喫することができます。

研修内容

アルバータ大学教育学部English Language Schoolの英語研修プログラムを受講します。TESL(Teaching English as a Second Language)を専門とする講師による英語研修は、少人数制で丁寧な指導。市が誇るエドモントン公園や州議会を訪れたり、週末にはロッキー山脈へハイキングに行ったりと、課外活動も充実しています。

研修先について

アルバータ大学

カナダ中西部、アルバータ州の州都エドモントンにある1908年創立の大規模総合大学です。カナダ国内外で高い評価を得ており、約4万人の学生が学んでいます。キャンパスは利便性が高く、快適な環境で学ぶことができます。



初めての乗馬体験

スケジュール

月～金：英語研修
文化・社会・歴史施設の見学等
カナディアンロッキーツアー(2泊3日)



授業風景



カナディアンロッキーの雄大な自然



オタゴ大学英語研修

達成目標

- 英語の4技能を集中的に鍛え英語の総合力をUP!
- ニュージーランドの文化について学び、理解を深める!

実施期間：8月中旬～9月下旬 約5週間(予定)

滞在：ホームステイ

担当教員から一言

(ハドリー浩美准教授)

本研修に参加したみなさんの声を紹介します。まず英語研修に関しては、内容がよかった、スピーキング能力が上がった、人前で話すことに慣れた、英語学習に対するモチベーションに変化があった、IELTSクラスは難しかったが次第に慣れた、といった感想がありました。授業外では、他国の学生と出かけて英語を使った、ホームステイ先で返答する努力を続けることでコミュニケーションがとれるようになった。豊かな自然に囲まれて毎日新しい体験ができた、とのことでした。さらに帰国後は、積極的になったことを実感した人や、長期留学を目指すようになった人もいます。ただ、出発前に英語の基礎力をつけて、現地では実践に集中すべきだったという反省も少なからず見受けられたので、参考にしてください!

オタゴ大学英語研修のここがオススメ!

オタゴ大学があるダニーデンは、海沿いにある自然豊かな、美しい街です。スコットランドからの移民によって作られた歴史ある

街で、街の名前は、ゲール語でスコットランドの首都「エジンバラ」を意味しています。「南海のエジンバラ」とも呼ばれ、現在でもスコットランド文化を色濃く残しています。地域人口の約20%は学生であり、学園都市としても有名です。坂が多い街でもあり、世界ギネスブックで認定された「世界一の急坂」Baldwin Streetがあります。

オタゴ大学イングリッシュランゲージセンターの英語研修は充実の学習時間でしっかり学べるプログラムとなっており、自分のレベルに応じた学習を進めることができるので、英語に自信のない方も、海外での語学研修が初めてのという方も、安心して参加することができます。さらに、中級レベル以上では、IELTS対策科目やNew Zealand Studies科目などの選択科目を受講することができます。交換留学など、より長期の留学を考えている学生には絶好の機会となるでしょう。

滞在期間中は現地の家庭にホームステイするため、ニュージーランドの文化を体験しながら、生のKiwi Englishに触れることができます。週末はダニーデン市街を散策したり、近隣の街まで足を伸ばしたりと、思い思いの過ごし方が可能です。

研修内容

ニュージーランド南島、ダニーデンにあるオタゴ大学イングリッシュランゲージセンターにて、5週間の英語研修に参加するプログラムです(1週間の授業時間数は23時間を予定)。プレACEMENTテストにより5段階にクラス分けされ、参加者のレベルに応じたクラス(平均14名、最大18名)で授業が行われます。読む・書く・話す・聞く・文法・語彙と、英語を総合的に伸ばすカリキュラムが組まれており、各レベルには、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)に基づき、レベル毎に習得状況や目標があります。中級レベル以上では、General Englishに加え、IELTS対策クラスやNew Zealand Studies科目などの選択科目を受講できます。

研修先について

オタゴ大学イングリッシュランゲージセンター

オタゴ大学は、1869年に創立のニュージーランドで最も古い大学で、教育や研究において国際的な定評がある非常にレベルが高い大学です。研修先であるオタゴ大学イングリッシュランゲージセンターはオ

タゴ大学の敷地内にある、大学付属の語学学校で、ニュージーランドの中でもトップクラスを誇る設備(自習ルーム、図書室、カフェテリア、コンピュータールーム)を使用できます。また、優れた資格を持つ教師陣による質の高い授業が行われています。

スケジュール

月～金：英語研修
(課外アクティビティもあり)
土日：自由行動



充実した設備の自習ルーム



世界一急な坂Baldwin Street

オタゴ大学時計塔



研修内容

異文化体験学習として、参加学生は現地での課題が与えられます。課題は、現地市民（ホームステイ先の家族等）にインタビューを行い日豪社会の比較及びその問題点を調査し、レポートにまとめることです。現地でインタビューしてまとめることが目的なので、課題は事前には知らされません。

英語研修では、レベル別にクラス分けされ、様々な国籍の留学生とともに週25時間のGeneral English Courseを受講。リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングを含めたコミュニケーション能力の向上を目指します。

研修先について

クイーンズランド工科大学(QUT) インターナショナルカレッジ

ブリスベン市内から2キロの距離にあるQUT Kelvin Groveキャンパス内に立地。語学としての英語を学ぶコースや大学正規入学に備えるためのコースがあります。少人数クラスで、経験豊富な講師陣とスタッフに加え、コンピュータ・ラボや語学学習ラボなど、学生専用の学習施設も充実しています。

す。本プログラムでは個人のレベルに合わせて学べるよう、初級クラス(Elementary)から上級クラス(Advanced)までのレベルに分かれ、General English Courseを受講します。

スケジュール

月～金：QUTインターナショナルカレッジ 英語研修コース受講

土日：自由行動



オリエンテーション・デーのキャンパス風景



様々な国籍のクラスメイトと

オーストラリア 多文化共生社会体験プログラム

達成目標

- オーストラリア文化を学び、独自の意見を持つ
- 多文化共生社会について理解を深める
- 英会話を実践し、ホストファミリーと心を通わせる

実施期間：2月中旬～3月中旬 約5週間(予定)

滞在：ホームステイ

担当教員から一言

(池田英喜准教授)

本プログラムは、オーストラリアでのホームステイと英語研修を通して、より広い視野を持ったグローバル人材の育成を目指して設立されたものです。ネット環境の発達により、どこにいても世界中の情報に接することができるようになった今だからこそ、日本には味わえない「何か」を全身で吸収し、「本物のグローバル人材」として成長するきっかけとなる経験を積むことができる、そんなプログラムです。

オーストラリアプログラムのここがオススメ!

このプログラムの大きな魅力は、①5週間滞在する間、現地の家庭にホームステイできること、②英語研修はレベル別にクラス分けされ、他の国の留学生と一緒に授業を受けられることです。

異文化体験を主としたプログラムのため、参加時の英語力は一切問いません。英語に全く自信がないというあなたも、躊躇することなく、ぜひ積極的に参加してください。日本から8～9時間のフライトと意外に近い

オーストラリア。ブリスベンとの時差はわずか1時間のため、日本での生活サイクルを保ったまま初日から意欲的に活動することができます。週末は、世界初で最大のコアラ保護区、ローンパイン・コアラ・サンクチュアリーを訪ねたり、ゴールドコーストへ足を伸ばしたりと、思い思いの過ごし方が可能です。

過去の参加学生からは、「わからないことだらけの土地で何でもトライしてみようという度胸がつき、使える英語がどんどん増えていった」、「文化・習慣・価値観の違いを肌で感じ、その違いを肯定的に受け取ることができ、自分の成長を感じた」、などの感想が寄せられています。本プログラムへの参加をきっかけに、交換留学等の長期留学を実現した先輩も少なくありません。学生の満足度が大変高いプログラムです。



ホストファミリーと一緒に



研修内容

フィリピン・マニラ市近郊のケソン市にあるアテネオ・デ・マニラ大学の言語学習センター(The Ateneo Language Learning Center (ALLC))において、英語研修を実施します。研修は、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4技能の強化・向上を目的としており、期間中は1日あたり約6時間の英語学習を行います。参加者のレベルに応じてクラス分けされ、様々な国籍や文化的背景をもった人々と同じクラスで学びます。

研修先について

アテネオ・デ・マニラ大学 アテネオ言語学習センター(The Ateneo Language Learning Center (ALLC))

アテネオ・デ・マニラ大学は、1859年に設立されたフィリピンのトップレベルのカトリック系総合大学です。研修先であるALLCは、アテネオ・デ・マニラ大学の人文科学部の付属センターで、世界各国から学生を受け入れており、参加者のレベルに応じたクラスに分け、1クラス10名程度の少人数クラスで授業が実施されます。

なお、新潟大学は、アテネオ・デ・マニラ大学と2017年に大学間交流協定を締結しており、より長期の留学を希望する学生は、1～2学期間、交換留学制度により留学することが可能です。

スケジュール

月～木：英語研修(一部金曜日も授業あり)

土日：自由行動



授業風景



マニラ大聖堂

フィリピンALLC英語研修

達成目標

- 英語の4技能を集中的に鍛える!
- フィリピンの社会・文化・歴史を体感する!
- アジアや世界から見た日本について考える

実施期間：2月中旬～3月下旬 約5週間(予定)

滞在：キャンパス隣接宿舎

フィリピンALLC英語研修のここがオススメ!

フィリピンの公用語は英語で、英語教育の質が高いことに定評があります。経験豊富な教員による充実した授業が、他の英語圏の国々と比較すると非常に安価で受講することができます。英語力を向上させて、より長期の留学を目指す学生にとっては最適な研修の機会となるでしょう。実際に、本プログラムへの参加をきっかけにアテネオ・デ・マニラ大学に交換留学を実現した先輩もおり、他大学への交換留学等にも繋がっています。

研修期間中は、キャンパス隣接の宿舎に滞在します。ケソン市ならびに大学周辺の地域は治安もよく、コンビニや飲食店が充実しています。

今、世界中の企業の中でも東南アジアの国々が注目を浴びています。これから世界へ飛び出そうとしている若者にとって、現地を肌で感じる貴重な経験となります。

担当教員から一言

(市橋孝道准教授)

海外の語学研修で英語力を磨きたいけど、金銭面や距離(時差)等のハードルで参加をためらってはいませんか? 本研修は、そのような皆さんの向上心を応援するために設けられています。「英語力を伸ばしたい」という気持ちに初心者も上級者もありません。海外に出るのが初めての方や既に語学研修に何度か参加したことのある方でも大歓迎です。英語を公用語とするフィリピンでは、日々英語の実践力が試され、授業では高度で正確な英語の運用能力を伸ばすことが可能です。また、授業では、様々な国籍や文化的背景をもった人々と接することになりますので、多様な価値観を知り、グローバルな視野も自然と身につ

いていくかと思えます。ケソン市ならびに大学周辺の地域は治安もよく、休日には快適な宿舎を出て、ちょっとした観光を楽しんでフィリピンの社会や文化・歴史に触れてもよいでしょう。



ケソン市内の景色



シンガポール・スプリングセミナー

**達成
目標**

- 留学・海外就職について考えを深める!
- 多文化共生のための実践力を養う!

実施期間: 2月下旬～3月上旬 約10日間(予定)
滞在: ホテル(研修先ビル内)

※本プログラム参加を希望する場合、第4タームに開講される「準備講座」は原則履修科目です。

研修内容

午前中の英語研修では、言語教育において豊富な実績で知られる Regional Language Centre (SEAMEO RELC) において、An English Communication Skills Course を受講します。日本人が比較的不得意とするオーラルコミュニケーションに力を入れたプログラムであり、多民族国家での豊かな教育経験を持つ講師陣が、英語プレゼンテーションの方法について、英語のみで指導します。

午後は日系グローバル企業や研究所等を訪問し、実務家たちとの交流などを通じて、留学や海外勤務について考えを深めます。名門シンガポール国立大学 (National University of Singapore, NUS) への訪問も予定されており、日本語を学んでいる現地学生と実際に交流する機会があります。

研修先について**SEAMEO RELC**

東南アジア教育大臣機構 (Southeast Asian Ministers of Education Organization, SEAMEO) とシンガポール政府が合同で設立している、地域言語教育センター

(Regional Language Centre, RELC)、通称SEAMEO RELC は、1968年の創立以来、地域の言語教育とりわけ英語教育において豊富な経験と実績で知られ、留学生から社会人までを指導しています。

スケジュール

月～金: (午前) 英語研修
(午後) 企業等訪問
土日: 自由行動



シンガポール国立大学にて

担当教員から一言

(張雲准教授)

アジアは急速に新興しています。IMFによれば、2019年の中国、日本、韓国、ASEAN諸国の名目GDPが世界全体に占

める比率は28%となり、ヨーロッパ連合と米国の経済規模を超えています。東アジアの域内貿易率は5割を超え、日本の輸出の半分以上がアジアへの輸出となっています。また、APEC、ASEAN+3、東アジアサミットを代表とする地域協力の枠組みが、この新興の波を後押ししていることから、このダイナミックな地域を知らないと、今後の世界の潮流を見失うと言っても過言ではありません。

本プログラムは、発展するアジアの先端に立ち、東洋と西洋の融合点にあるシンガポールに焦点を当て、英語力を磨きながらこのダイナミックなアジア、そしてこれからの世界の動きを探ることを目的とします。本プログラムの特徴は単純な「語学研修」ではなく、「事前勉強」と厳選したシンガポールにおける訪問先の第一線で活躍されている実務家たちとの交流などを通じて、以下の効果を期待しています。(1) 国際人材の教養を身につける。(2) 生きた英語のオーナーになる。(3) 総合能力の向上及び様々な異文化の場面に遭遇し、自己表現力、国際的な判断能力や発信能力などを高め、自信を身につける。長期留学、国際的なキャリアへの起爆剤になることも期待しています。

シンガポール・スプリングセミナーのここがオススメ!

多様な文化が共存する色彩豊かな美しい国シンガポール。高層ビルの隙間を埋めるように緑が勢いよく育ち、街全体に潤いを感じます。また、中国系、マレー系、インド系、アラブ系など多様な人種が共存し、地下鉄を利用すれば、リトルインディア、チャイナタウン、アラブストリートなどへ簡単に行くことができます。寺院やモスク、にぎやかな屋台やマーケットなど、それぞれ異なる国の国に行ったかのような雰囲気を楽しむことができます。

シンガポールの発展はめざましく、リゾート・レジャー施設がいくつもオープンし、地下鉄の路線も増え続けています。将来、世界を舞台に活躍したい学生に、ぜひ体験してもらいたいプログラムです。



企業訪問



オックスフォード大学スプリングセミナー

**達成
目標**

- スピーキングを中心とした英語力UP!
- イギリスの文化や歴史について学ぶ!

実施期間: 3月中旬～下旬 約2週間(予定)
滞在: 学生寮(オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ)

※本プログラム参加を希望する場合、第4タームに開講される「準備講座」は原則履修科目です。

研修内容

世界的な名門大学であるオックスフォード大学との連携により、English Language and Japan-UK Comparative Culture Programmeを受講します。本プログラムは、スピーキングを中心とした英語によるコミュニケーション能力を育成するプログラムであり、英語教育の経験豊かな講師からイギリス文化や歴史を学ぶとともに、英語プレゼンテーション・スキルの向上を目指します。また、研修にはオックスフォード近郊へのスタディツアーや実地研修等が含まれ、実践的な英語を学ぶことができます。課外では、オックスフォード大学の現役学生が、アシスタントとして様々なサポートをしてくれます。



ため息の橋

研修先について**オックスフォード大学
ハートフォード・カレッジ**

オックスフォード大学は、英語圏で最も歴史の長い大学であり、世界有数の学術機

関として知られています。研修先のハートフォード・カレッジは、オックスフォード大学を構成するカレッジのうち、1282年に創立された最も古いカレッジの一つです。「ため息の橋」とも呼ばれる美しい渡り廊下でも知られています。

担当教員から一言

(ハドリー・浩美准教授)

歴史と伝統のあるオックスフォード大学にて、学生寮で生活を送しながら英語と比較文化を学んでみませんか。ハートフォード・カレッジはオックスフォード大学のほぼ中心に位置し、映画やドラマの格好の撮影場所ともなっています。徒歩圏内に名所がたくさんあることも魅力のひとつです。わずか2週間のプログラムですが、アクティブ・ラーニング型の授業で実践的な英語を学ぶと同時に、現地学生との交流やスタディツアーなどを通して多様な価値観に触れることができる充実したプログラムとなっています。あとはみなさんの努力次第で、生涯忘れられない貴重な経験となることでしょう。

オックスフォード大学英語研修のここがオススメ!

オックスフォード大学のキャンパスでの英語学習や現地学生との交流などを通じて、学習意欲が刺激されることでしょう。研修の最終日には、「ガラディナー」と呼ばれるイギリスの伝統的な夕食会に準正装で参加するなど、イギリスの文化や歴史を実際に体験することができます。イギリス英語に触れる点も大きな魅力です。

滞在中は、オックスフォード大学の現役学生が、寮生活から課外活動まで様々な面でみなさんをサポートするので安心です。オックスフォード市内や近郊には名所旧跡が多く、ロンドンへもバスで1時間半～2時間です。自由時間も様々な過ごし方が可能です。



授業風景



ガラディナー

スケジュール

月～金: 英語研修、イギリス文化体験
(ロンドンなどへのスタディツアーに参加)
土日: 自由行動



西シドニー大学国際交流プログラム

オンライン × 現地渡航

達成目標

- 多国籍の学生との協働学習や交流、現地の人との交流を深める!
- 英語・キャリア・異文化・デジタルの知識とスキルを身につける!

実施期間: 8月～9月: オンライン研修2週間+現地研修2週間(予定)※
滞在: ホームステイ(現地研修)

※時期・期間は2023年12月現在の予定で、変更となる可能性があります。

研修内容

オーストラリアの西シドニー大学付属語学学校The Collegeが提供する、これからの社会に必要とされている英語・キャリア・異文化・デジタルを学習するプログラムです。本プログラムでは、オンラインによる約2週間の研修と、現地での約2週間の研修を効果的かつ自由に組み合わせ、英語研修に加えて様々な国籍の留学生や現地学生との協働学習に取り組みます。

また、西シドニー大学ならではのバーチャルエクスチェンジツールを利用して、国境を越えてリアルタイムで現地学生や他国の学生とのオンライン交流イベントに参加することができます。その上で、SDGsデータベースやデジタル図書館、e-learningシステムなどの自律学習ツールを駆使することにより、英語能力、キャリア意識、異文化対応力、デジタルリテラシーをさらに向上させることができます。

現地滞在期間中はオーストラリアの家庭にホームステイとなるため、現地の文化を体験しながら、生のAussie Englishに触れることができます。また、現地でのインターンシップへの参加、あるいは西シドニー大学にしかないSDGsプロジェクトやYoung

Leadersプロジェクトへの取り組みを予定しています。多様な価値観や文化に触れることで国際的視野を広げ、グローバル人材としての社会人基礎力やコンピテンシーが鍛えられます。

研修先について

西シドニー大学付属語学学校
(The College, WSU)

西シドニー大学はシドニー北西部にメインキャンパスを持ち、北西部とシティに合計11のキャンパスを展開する大規模な総合公立大学です。1989年設立の新しい大学ですが、設立50年未満の世界36位にランクするオーストラリアでも急成長を続ける大学の一つで、グローバルに評価される教育システムと大学全体のデジタル化が進んでいることで知られています。留学生の割合は16%、国際色豊かな学習環境で勉強することができます。



SDGsの授業風景

担当教員から一言

(蒙韞准教授)

このプログラムはコロナの真っ最中で立ち上げられ、「少しでも国際交流や国際教育に明かりを灯し、より多くの学生を笑顔で効果的に学ばせる」よう、本学が西シドニー大学付属語学学校The Collegeと心を込めて企画・運営・実行しました。

これまでのオンライン・現地研修は、参加学生に好評だっただけでなく、「誰が、何を、なぜ、またどのような状況で学習したのか」を測り、異文化間能力を含む自己(Self)全体を測定することが可能である客観的測定テストBEVI(Beliefs, Events, and Values Inventory)の結果から、参加学生の①英語学習意欲、②グローバル・コンピテンシー、③社会人基礎力と④デジタルリテラシーを高めるために、優れた教育効果が確実に見られました。そのため、もし「オンライン研修には本当に効果があるのか」という疑問を持ちたり、「今、やるかやらないか」を迷ったりするのなら、ぜひ応募してください! そうすると、きっと早いうちに、今までと違う自分に会えると思います。

参加学生の声

※2023年度のプログラムに参加した学生の感想です。

- ◎オーストラリアという土地柄、様々な人種や宗教背景を持つ人が暮らす様子は日本ではなかなか見ることができないもので、自分の認識の世界を広げることができた。
- ◎ベトナムの友人ができて、メールでの意思疎通は難なくできたが実際に話すとは伝わらないことや聞き取りにくいことが多かったため、もっと英語を勉強したくなった。
- ◎特にスピーキング力とリスニング力が大幅に向上したと思う。ホストファミリーとの会話を通じて、英会話に慣れることができた。
- ◎長期留学を具体的に考えられるようになった。
- ◎オンラインでも先生方とちゃんとコミュニケーションが取れることが分かりとても充実

した時間を過ごすことができた。オンラインだからこそ円滑に授業が進み、緊張していたが必死になれた。



オンライン研修の様子

Pick Up! 第2タームに参加可能なプログラム

新潟大学では平成29年度から全学生を対象に「クォーター制」(ひとつの年度を二分した第1学期・第2学期をさらに半分に分けた「クォーター」ごとに授業を行う制度)を導入しています。計画的な履修により空白のタームを確保することで、在学したままターム中に留学することも可能です。

以下のショートプログラムは、第2タームに参加可能なプログラムです。実施時期の前年度の1月～3月に募集を行いますので、他の授業に支障がないことを指導教員、授業担当教員、及び所属の学務係に十分に確認の上、申し込んでください。

オーストラリア多文化共生社会体験プログラム
6月中旬～7月下旬(約5週間)

春季実施のショートプログラムの第2ターム版です。クイーンズランド工科大学(QUT)インターナショナル・カレッジにて、5週間のGeneral English Courseを受講します。現地家庭にホームステイしながら、オーストラリア文化について学び、多文化共生社会について理解を深めます。

▶ <https://www.qut.edu.au/study/qut-college>

仁荷大学サマースクール
7月下旬～8月上旬(約3週間)

大学間交流協定校である仁荷(イナ)大学にて、例年実施されているインターナショナル・サマースクールに参加するものです。韓国語のみならず、「Korea and East Asian International Relations」や「Introduction to K-pop Drama & Its Multicultural Aspects」などの科目を英語で学ぶため、韓国語を全く勉強したことがない方でも参加でき、「英語も韓国語も」学ぶことができるチャンスです。

▶ <https://summer.inha.ac.kr/summer/index.do>

参加学生の声

経済科学部 総合経済学科 高野 浩 さん

2023年6月～7月 オーストラリア多文化共生社会体験プログラム

私は、海外の生活・文化に興味があり大学在学中に留学したいと考えていたこと、また、海外での生活は刺激的で、楽しそうで、そこでしか経験できないことが多くあると思い、このプログラムに参加しました。現地では、ホストファミリーにお世話になりました。アラビア系にルーツがある方で、たくさんおいしい晩ご飯を作ってくれました。留学先のクラスは、自分より年下の人から、30代で家庭をもつ方など、約8カ国の生徒がいました。タイ人や台湾人、サウジアラビア人の友人と、それぞれの国の話

をしたことや、放課後や休日と一緒に出かけたいことが思い出に残っています。ホストファミリーや学校のクラスメイトと、学校生活の話、趣味、将来の話、恋愛の話、オーストラリアのおすすめの場所など、たくさん話しました。文化や習慣、価値観が違う中で、これは世界共通の感覚、感情なのだという発見や、日本とは全く違う捉え方をするのだと驚くようなことなど、留学をしなければ分からないことがたくさんありました。また、知らない土地で、一人で様々なことに挑戦したことで、以前より度胸や胆力、自信がついたと思います。伝えたいことが英語で上手く話せないもどかしさを感じながらも、大学生活で一番充実した時間になりました。渡航前の不安や期待以上に、刺激的で楽しい5週間が待っています。少しでも興味のある方はぜひ!!



第2タームに参加可能なプログラムに関する情報は「新潟大学 国際交流・留学」でお知らせしています。

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/short-term/>

専攻に応じて専門分野を海外で学ぶためのプログラムです。

基本的に、プログラム実施学部・研究科の所属学生を対象としています。詳しくは、各学部・研究科学務係にお問い合わせください。

〈プログラムの例〉 ※その他にも実施されるプログラムがあります。最新の情報は所属学部・研究科の学務係で確認してください。

実施学部・研究科	プログラム名	実施予定時期・期間	研修先国・地域	研修先大学等	単位付与・認定	概要
教育学部	アジア大学スポーツ交流プロジェクト ～Sports for P.E.A.C.E.～	12月上旬(4日間)	韓国、中国	漢陽大学、 哈爾濱商業大学	無	漢陽大学体育学部・生活体育学部、哈爾濱商業大学体育学院の学生と各国の得意スポーツのトレーニング方法などについて情報交換する。また、研究についても学術的な交流を行い、スポーツを通じた交流も実施することで友好を深める。
理学部	インド太平洋地域の「仮想フィールド」を活用したハイブリッド型フィールド科学人材育成プログラム	4月～3月 (短期:10日間 中期:1～3か月間 長期:3～12か月間)	インド、オーストラリア、スリランカ	インド理科大学院大学、 マッコリー大学、ペラデニア大学 等	有	インド・オーストラリア・スリランカの大学生らとともに、仮想フィールド実習および渡航型のフィールド実習を通して、フィールド科学分野における最先端の研究環境を体験する。さらに、急速な資源開発やそれに伴う環境汚染に対する先進的な野外調査技術を体験する。
医学部 医学科	グローバル視点を育てる「国際医学生週間」の更なる活性化	8月～9月 (約2週間)	中国、インドネシア、タイ 等	ハルビン医科大学、ハサヌディン大学、タマサート大学 等	有	「国際医学生週間」を企画し、中国医科系大学、東南アジアの学生を受け入れ、新潟大学医学部での教育・研究・医療の国際学生交流を経た後に、本学の学生を交流協定等を締結している海外の大学に派遣する。
	医学部海外派遣実習	9月～10月 (約8週間)	アメリカ合衆国、マレーシア、フィンランド、スウェーデン 等	ハーバード大学、タフツ大学、ヘルシンキ大学、カロリンスカ研究所 等	有	学生は自ら希望する研究室を学内外から選び、研究活動の実際を経験し、研究の意義や重要性を理解すると共に、研究の基本的な進め方を学ぶ。医学生を海外に派遣することで研究心を刺激し、海外経験を通じて、将来的に最先端の医学研究や国際医療協力などグローバルに活躍できる人材を養成する。
医学部 保健学科	多文化共生社会を牽引する人材育成のための国内学習と夏季海外渡航学習を連結したハイブリッド派遣プログラム	7月上旬～9月 (16日間)	スリランカ	ペラデニヤ大学	有 (一部無し含む)	渡航前学習で異文化コミュニケーションの基礎やスリランカの社会事情等を学習し、現地ペラデニヤ大学および関連施設において交流学习に取り組み、同国の保健分野の現状と課題、伝統医療の理解等に取り組み。
歯学部	世界展開力涵養支援による歯科関連グローバル人材育成プログラム	8月～3月 (約2週間)	アメリカ、カナダ、ベトナム、タイ等	ペンシルバニア大学、 ホーチミン医科薬科大学、 トロント大学、ハノイ医科大学、 チェンマイ大学	有	派遣先ではそれぞれの国や地域の特性を活かしたさまざまな短期研修プログラムが用意されており、日本とは異なる環境で口腔保健医療の実態を見聞・体験することにより、口腔保健医療の相互理解を深めることができる。
工学部	G-DORM学生交流プログラム(ブレンド型短期・中期)	短期:2学期(講義)+ 2月頃(派遣10日間) 中期:8～9月 (2ヶ月間)	カンボジア・ラオス・タイ・ベトナム	王立ブノンベン大学、 ラオス国立大学、チュラロンコン大学、 ハノイ工科大学	有	派遣先大学の学生と、専攻・学年・国籍混合の学生チームを結成し、主にグループワーク(GW)に取り組み。国際展開力を有する新潟関連企業(現地法人を含む)でのインターシップと、派遣先大学での活動を組み合わせた学生交流プログラム。短期派遣では、国内学修やオンライン交流を含んだブレンド型の国際共修に取り組み。
農学部	グローバル農力養成プログラム/グローバル防災・復興プログラム(短期)	8～9月(約2週間)	トルコ、台湾 等	アンカラ大学、中東工科大学、 国立成功大学 等	有	海外(トルコ・台湾等)の協定校との交流を行う中で、訪問国の農業・防災・復興を複合的視点で学習するほか、現地学生を交えた英語のワークショップを実施する。
	グローバル農力養成プログラム/グローバル防災・復興プログラム(中期・長期)	未定 (中期:～6ヶ月間、 長期:～1年間)	トルコ 等	アンカラ大学、中東工科大学 等	有	海外(トルコ等)の協定校との交流を行う中で、訪問国の農業・防災・復興を複合的視点で学習するほか、研究室で専門の研究を実施する。
教育実践 学研究科	北京師範大学大学院研究交流事業	11月頃(6日間)	中国	北京師範大学	無	北京師範大学大学院生と教職大学院生と研究交流を行う。また、附属学校において交流事業を行う。



アジア大学スポーツ交流プロジェクト(教育学部)



グローバル防災・復興プログラム(農学部)

3 交換留学

交換留学とは？

新潟大学と海外の大学(協定校)との間で結ばれている学生交換協定に基づき、1学期間(約半年)または2学期間(約1年間)、協定校へ留学する制度です。留学期間は新潟大学の修業年限(在学年限)にカウントされ、「授業料不徴収協定」が結ばれている場合、新潟大学に授業料を納めていれば、留学先大学では授業料を支払う必要がありません。協定には、大学間交流協定(大学と大学との間で締結している協定)と部局間交流協定(学部や研究科単位で締結している協定)があり、それぞれの対象や問い合わせ先は以下のとおりです。

交換留学の種類	対象	問い合わせ先
大学間交流協定校への交換留学	全学の学生	学務部留学交流推進課
部局間交流協定校への交換留学	当該学部・研究科の学生	所属学部・研究科学務係

以下、全学の学生が対象となる大学間交流協定校への交換留学について記載しています。部局間交流協定校への交換留学については、所属学部・研究科の学務係にお問い合わせください。

大学間交流協定校への交換留学 5つのポイント

- ポイント1** 全学部・研究科の学生が応募できる!
- ポイント2** 応募のチャンスは年に2回!
2~3月開始の交換留学...前年の6~7月頃に募集
8~9月開始の交換留学...前年の10~11月頃に募集 ※応募スケジュールは変更になることがあります。



- ポイント3** 留年なしでの留学も可能!
留学期間中に取得した単位は、所属学部・研究科に認められれば単位互換が可能です。計画的に留学、授業を履修すれば、留学期間を含めて「4年間で卒業」することもできます。(※ただし、所属学部・研究科によって異なるので要確認。応募前に、卒業までのカリキュラムや単位について、所属学部・研究科の学務係や教員と十分相談してください。)

- ポイント4** 経済的負担が少ない!
新潟大学に授業料を納めることで、留学先大学では授業料を納める必要はないため、留学費用の負担が少なく済みます。また、所定の要件を満たしている場合は、返済不要の奨学金を受給しながら留学可能です。(奨学金については、詳しくはp.18-19へ!)

- ポイント5** 手続き面でのサポートあり!
大学間交流協定校への交換留学は、留学が正式に決定するまで学務部留学交流推進課が留学先大学と連絡を取りながら手続きを進めます。また、留学手続きオリエンテーションや渡航前オリエンテーションにて、手順等を確認することができます。

主な留学先	国・地域	大学名	国・地域	大学名	国・地域	大学名
	アメリカ	ロードアイランド大学	タイ	チュラロンコン大学 他	ドイツ	ミュンスター大学 他
	アメリカ	カリフォルニア州立大学ソノマ校	アジア太平洋地域	UMAP (アジア太平洋大学交流機構) ※	フランス	ナント大学 他
	オーストラリア	シドニー工科大学	中国	黒竜江大学、中央民族大学 他	フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学
	韓国	仁荷大学、漢陽大学	台湾	国立中央大学 他		

上記以外にも様々な協定校があります。協定校の一覧は、以下のホームページで確認してください。

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/internationaldata/partner/>



※新潟大学はUMAPと大学間交流協定を締結しているため、UMAP参加大学も交換留学対象となります。

応募前 ~交換留学したいと思ったら~

目的・目標を明確にする

- どのような目的・目標で留学するのか。具体的に何を勉強したいのか。
- どの国で、どのような大学で学びたいか。留学期間は? いつ留学するのがベストか?
- 留学は、その後の自分の学びと進路において、どのような位置づけにあるのか。

後悔しない留学をするには「情報収集」から!

1. 新潟大学HPの交換留学のページ (協定校のファクトシートや留学体験談などを読んでみる)
2. 興味のある協定校の公式ウェブサイト (交換留学生向けの情報、特に、履修できる授業の情報など)
3. 担当教員や所属の学務係に相談する
4. 留学ガイダンス・募集説明会に出席する
5. 留学相談を活用する...他

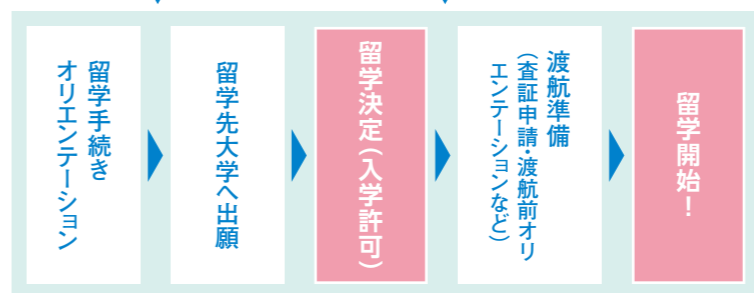
留学先大学を選ぶ

- 学修したい内容を学ぶことができるか。
- 留学先国・地域の生活環境に適応できそうか。
- 留学先でかかる費用、現地の物価
- どのくらいの語学能力が要求されるのか
- 所属する学部・研究科のカリキュラムを履修するうえで問題はないか。

ポイント! 交換留学には、情報収集能力は不可欠! まず自分で調べてみましょう。留学中、自分の身を守り、充実した留学生活を送るうえでも役立ちます。

大学間交流協定校への交換留学 募集から留学開始までの流れ

	2024年												2025年												主な募集対象 (2023年度実績)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
第1期募集			募集開始・説明会	応募締切・学内選考	派遣候補生決定																		オーストラリア・韓国・台湾など		
第2期募集								募集開始	説明会	応募締切・学内選考	派遣候補生決定												北米・欧州・韓国・台湾など		



※スケジュール、募集対象は変更となる可能性があります

語学要件について 早めの準備をオススメ!

協定校が語学要件を定めている場合は、**出願時までに必ず語学要件を満たす必要があります**。英語圏への交換留学に必要なTOEFL iBTやIELTSはSpeakingやWritingを含むため、早めの準備・受験をお勧めします。また、協定校が語学要件を定めていない場合でも、語学検定試験を計画的に受験し資格を取得することで、各種奨学金制度や学内選考の審査で有利になるほか、留学中の学習効果アップが期待されます。

語学要件の例	TOEFL iBT	IELTS (Academic Module)
アメリカ・ロードアイランド大学	79以上	6.5以上
アメリカ・カリフォルニア州立大学ソノマ校	61以上	6.0以上
オーストラリア・シドニー工科大学 (1)学部正規科目を履修する場合 (2)オーストラリア言語文化課程の場合	79以上 (Writing21以上) 35以上 (Writing17以上)	6.5以上 (Writing6.0以上) 5.0以上 (Writing5.0以上)

※ロードアイランド大学は、「英検準1級」などの上記以外の試験の要件もあります。詳細はファクトシートで確認して下さい。
※キャンパスや専攻によっても要件が異なります。

Check!
新潟大学では長期留学を目指す学生向けに、TOEFL iBT Preparation I & II、IELTS Preparation I & II、iStep、iStep Extension、中級EAP、上級EAPの英語科目が開講されています。詳しくは、英語履修案内を確認してください。

交換留学の費用

留学に必要な費用は、留学する国や留学期間、滞在方法などにより大きく異なります。主な募集校の費用の目安については、ホームページに掲載のファクトシートに記載があります。ご家族と事前によく相談し、十分な資金計画を行ったうえで応募してください。

- 留学にかかる費用**
- 1年間(2学期間)の場合、おおむね120万円から280万円程度。
(内訳) 渡航費、住居費、現地での生活費、教科書代、学研災付帯海学留学保険料及び危機管理サービス料、ビザ取得費用など
 - その他、現地保険料(現地の大学が定める保険に加入が必須となる場合)や授業料(任意で附属の語学学校に通う場合)がかかる場合がある。

大学間交流協定校への交換留学について詳しく知りたい方は、ホームページを確認してください。

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/exchange/>



留学奨学金について

奨学金による支援が充実!

新潟大学には充実した奨学金制度があり、多くの学生が(独)日本学生支援機構(JASSO)の給付型奨学金(返還の必要のない奨学金)を受給し、海外へ留学しています。全学対象の夏季・春季ショートプログラムのほか、専門分野プログラムや交換留学等も奨学金の支給対象となっており、条件を満たす学生には、渡航先により月額6~10万円が支給されます。

奨学金には、返済不要の給付型奨学金と、返済が必要な貸与型奨学金がありますが、ここでは主に返済不要の海外留学奨学金について紹介します。



新大生にとって身近な給付型奨学金

奨学金の名称等	対象	支援内容	成績要件	応募方法
1. JASSO海外留学支援制度(協定派遣)	JASSOに採択された新潟大学のプログラム	月額6・7・8・10万円(国・地域による)別途、※渡航支援金制度あり。 1. 一定の家計基準を満たす者: 16万円 2. 一定の派遣期間156日以上(奨学金支給回数)6回以上を満たす者: 13万円	あり	参加するプログラムの担当教職員または所属学部・研究科学務係に確認してください。
2. 新潟大学派遣留学支援制度(セメスター留学奨学金) ※ JASSO海外留学支援制度(協定派遣)及び新潟大学基金を原資として学内で公募する奨学金。	1学期間または2学期間の交換留学等が決定している学生	※新潟大学派遣留学支援制度(セメスター留学奨学金)で新潟大学基金を原資とする場合は、渡航支援金の対象とならない。	なし	学内募集時に、所属学部・研究科学務係を通じて学生が応募
3. 官民協働海外留学支援制度 ~トビタテ!留学JAPAN新・日本代表プログラム~ 公式HP: https://tobitate-mext.jasso.go.jp/newprogram/uv/	28日以上1年以上の留学(3か月以上推奨)	月額奨学金 月額12万円 または 16万円(家計基準を超える場合) 月額一律6万円 留学準備金(定額) 15万円(アジア地域)・25万円(その他地域) 授業料(定額)※ 30万円 ※大学または大学院を留学先機関とし、留学計画に沿った専門分野を学ぶことを目的とした授業の授業料のみ。	なし	学生自身が立案・作成した留学計画について、大学を通して申請。学内募集時に学生が学務部留学交流推進課へ

1 JASSO海外留学支援制度(協定派遣)

■ 支給にあたっての主な要件 以下①及び②の他にも支給対象者の資格及び要件あり。詳しくは下記ホームページにて確認してください。

①成績要件: 成績評価係数※ 2.30以上 ※JASSOが定める計算式(3.00満点)による。GPAとは異なるので注意。

前年度の成績により算出します。ただし、前年度の成績がない1年生は前学期分の成績を使用します。ご自身の成績評価係数について確認したい方は、ホームページに計算用のエクセルシートを掲載していますので、ダウンロードして活用してください。

〈HP〉[新潟大学 国際交流・留学] ⇨ [海外への留学] ⇨ [海外留学の奨学金]

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/scholarship/>



②家計基準: JASSO第二種奨学金(国内貸与型奨学金)在学採用の家計基準

【家計基準確認にかかる提出書類】

〈学部生の場合〉 生計維持者(原則父母)の各市町村で発行される課税証明書または非課税証明書(又は所得証明書)

〈大学院生の場合〉 本人の収入(定職、アルバイト、父母等からの給付、奨学金等)を証明する書類



第二種奨学金在学採用の家計基準を上回る場合でも、追加資料の提出等により「自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者」と判断される場合がありますので、所属学部・研究科学務係(または学務部留学交流推進課)へご相談ください。

2 新潟大学派遣留学支援制度(セメスター留学奨学金)

■ 交換留学など、1学期以上の留学をすることが決まったら...

交換留学等による1学期間または2学期間の留学をする学生が対象です。募集要項で申請要件に合致するかを確認の上、受給を希望する学生は申請期限までに所属学部・研究科学務係宛てに申し込んでください。



- 交換留学への応募とは別に、奨学金への申請が必要です。
- 支給にあたっての要件は、「1.JASSO海外留学支援制度(協定派遣)」と同様です。
- 語学要件もありますので、募集要項にて確認してください。
- 交換留学以外の協定校へのセメスター留学も、その他の要件を満たしている場合は対象となる可能性があります。

〈HP〉[新潟大学 国際交流・留学] ⇨ [海外への留学] ⇨ [海外留学の奨学金]

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/scholarship/>



3 官民協働海外留学支援制度 ~トビタテ!留学JAPAN新・日本代表プログラム~

■ “幅広い留学”を支援(実践活動のみもOK)! 学生が自ら留学計画を作成



文部科学省が民間企業と官民協働で取り組む海外留学促進プログラム(奨学金)です。大学での学びだけでなく、インターンシップ・ボランティアなど、学生の多様な興味・関心に基づいた実践的な留学を幅広く支援します。「自ら社会に変革を起こしていくグローバルリーダー」として日本の未来を創る人材の育成を目指します。



- 新潟大学では、第1ステージ(1期~14期)で計37名、第2ステージの第15期では4名が採用されました。
- 交換留学をベースにボランティア活動を組み合わせた計画、インターンシップのみの計画など、幅広い留学を支援。
- 申請についての質問・相談は、学務部留学交流推進課まで。過去の採用学生の申請書類も閲覧可能です。
- トビタテに申請し、採用に至らなかった方を対象とした学内支援もあります。

新潟大学派遣留学支援制度(トビタテ!申請奨励金)

面接審査まで進んだが採用に至らなかった方に対し、東京までの交通費相当額2万円を支給するもの。

〈HP〉[新潟大学 国際交流・留学情報] > [海外への留学] > [海外留学の奨学金]

⇨ [官民協働海外留学支援制度~トビタテ!留学JAPAN新・日本代表プログラム~]

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/scholarship/tobitate/>

その他の奨学金

海外留学の奨学金には、上記以外にも、外国政府等奨学金(中国政府奨学金など)、地方自治体奨学金、民間団体奨学金など、様々な奨学金があります。積極的に情報収集し、ぜひ自分に合った奨学金を見つけて応募してみてください。大学を通して申請する海外留学奨学金については、上記「新潟大学国際交流・留学情報」HPに情報掲載しています。

オススメ!

JASSOの「海外留学支援サイト」では、留学先国・地域についてだけでなく、海外留学奨学金について情報収集・検索することができます。

▶ <https://ryugaku.jasso.go.jp/>



その他セメスター留学

右の協定校については、新潟大学に授業料を納める交換留学ではなく、協定校に授業料を納めることにより1学期以上留学することが可能です。

※協定校が語学要件・成績要件を定める場合、その要件を必ず満たさなければなりません。

大学間交流協定校	(参考)左記協定校は、長期休業中の海外留学ショートプログラムの研修先でもあります。あわせてご参照ください。
カナダ・アルバータ大学	カナダ・サマーセミナー → p.11
ニュージーランド・オタゴ大学	オタゴ大学英語研修 → p.11
オーストラリア・西シドニー大学	西シドニー大学国際交流プログラム → p.14

〈HP〉[新潟大学 国際交流・留学] ⇨ [海外への留学] ⇨ [交換留学・その他セメスター留学] ⇨ [その他(協定校への交換留学によらない留学)]

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/exchange/fee-paying/>



留学安全・危機管理について ～自分の身は自分で守る～

関係資料や様式等について、ホームページで確認・ダウンロード可能です。
〈HP〉「新潟大学 国際交流・留学」⇒「海外への留学」⇒「留学の安全・危機管理」
▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/safety/>



渡航前の注意 (心構えと情報収集)

海外では、日本とは異なる危険や病気、事件・事故等、予期しない事態に遭遇する可能性があります。留学中は、自分の安全管理は、自分自身で行うことが必要です。
留学先を決定する際は、必ずその国・地域の様々な情報を調査し、留学期間中を通じ、常にその国・地域の最新情報の入手に努めるとともに、危険と思われるところへは近づかないよう注意してください。

1 「外務省海外安全ホームページ」からの情報収集

外務省では「海外安全ホームページ」<https://www.anzen.mofa.go.jp/>に、海外の犯罪、事件、テロなどの危険情報や、新型コロナウイルス感染症などの感染症流行状況、予防接種の要否、安全の手引きなど、有益な情報を掲載しています。渡航前には、必ず「海外安全ホームページ」を確認し、渡航の準備をしてください。



「海外安全ホームページ」
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

トップページにある「国・地域名からの検索」または「世界地図からの検索」から情報を得たい国・地域の名称を選択すると、その国・地域の情報を確認できます。

新潟大学では、危険情報(感染症危険情報を含む)レベル2「不要不急の渡航は止めてください。」以上の国・地域や、スポット情報で渡航自粛が呼びかけられている国・地域への渡航は禁止しています。派遣先の危険情報及び感染症危険情報レベルや現地治安状況に大きな変化が起きた場合は、大学の判断で研修の中止・途中帰国を判断することがあります。

2 「たびレジ」登録

渡航予定が決まったら、外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録してください。

▶ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

登録すると、渡航先の最新防犯情報や注意事項が電子メールで提供されます。

また、渡航先国・地域に所在する日本国大使館などが在留邦人に出す緊急一斉通報や、最新の渡航情報もリアルタイムで受け取ることができます。さらに、現地で大きな事件や事故、災害が起こった場合には、登録された連絡先を基に日本国大使館などから安否確認の緊急連絡を行いますので、支援がスムーズに受けられます。

なお、「たびレジ」簡易登録を活用すると、具体的な渡航予定はないが海外の安全情報は入手したいという場合も、メールアドレス(複数アドレス登録可能)と国・地域(複数指定可能)を登録するだけで、最新の安全情報等をメールで受け取ることができます。留学に際してご家族のメールアドレスを簡易登録すると、皆さんの留学先国・地域について、ご家族も最新情報を得ることが可能です。

また、渡航期間中に小旅行等で別の国・地域に移動する場合にも、行き先の国・地域について「たびレジ」へ登録しておきましょう。

※外国に住所または居所を定めて3か月以上滞在する場合は、「在留届」を提出してください。



3 在外公館連絡先確認

渡航先の最寄りの日本大使館・領事館の所在地・連絡先を調べておきましょう。

▶ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>

在外の日本大使館・領事館は、海外における日本人の保護や援助を任務の一つとしています。渡航先で、事件・事故に遭うなどして支援が必要となった時には、迷わず滞在地最寄りの日本大使館・領事館へ連絡してください。



4 海外渡航前安全管理オリエンテーション出席

新潟大学では、海外渡航する学生の皆さんの安全管理教育のために、長期休暇前の6-7月及び12月に五十嵐キャンパスにおいて、渡航前安全管理オリエンテーションを開催しています。海外に渡航予定の方は、必ず出席するようにしてください。

5 各種情報収集 参考URL

海外安全情報

- ・外務省 海外安全ホームページ……………▶ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>
- ・外務省 海外旅行登録「たびレジ」……………▶ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>
- ・外務省 海外安全虎の巻……………▶ <https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>
※各学部・研究科学務係及び学務部留学交流推進課で紙媒体の冊子を入手することができます。
- ・外務省 在外公館リスト……………▶ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>

感染症・医療情報

- ・外務省 世界の医療事情……………▶ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>
- ・厚生労働省検疫所 海外旅行者のための海外感染症情報……………▶ <https://www.forth.go.jp/index.html>
- ・国立感染症研究所感染症疫学センター……………▶ <https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>
- ・世界保健機関(WHO)……………▶ <https://www.who.int/en/>
- ・米国 疾病対策センター(CDC)……………▶ <https://www.cdc.gov/>

危機管理情報

- ・米国 連邦危機管理庁(FEMA)……………▶ <https://www.fema.gov/>
- ・英国 情報局保安部……………▶ <https://www.mi5.gov.uk/>
- ・英国 外務英連邦開発省(FCDO)……………▶ <https://www.gov.uk/government/organisations/foreign-commonwealth-development-office>

渡航前の諸手続き

海外へ渡航する場合は、必ず事前に次の手続きを行ってください。

1 海外旅行保険・危機管理サービス加入

海外の病院での医療行為は日本とは医療事情が異なり、一般的に日本での治療費用より高額な場合が多く、海外旅行保険による支払保証を行わないと治療を受けられないこともあります。渡航中の不慮の事故や疾病に備えて、海外旅行(留学)保険に必ず加入してください。

(1) 大学主催の海外派遣プログラムに参加するなど、教育・研究活動のため渡航する学生の皆さん

新潟大学では、教育・研究活動のため海外渡航する学生の皆さんについては、原則、大学が指定する学生教育研究災害傷害保険(学研災)付帯の海外留学保険「付帯海学」に加入することとしています。

あわせて、緊急時の対応を強化するため、危機管理サービスにも加入していただきます。この危機管理サービスにより、渡航中、24時間365日「国際ホットライン」による相談サポートを受けることができます。

「付帯海学」及び危機管理サービスの詳細(費用・申し込み方法等)については、学務情報システムから資料をダウンロードするか(フォルダ名:学生向け海外渡航手続き(保険・危機管理サービス)関係資料)、所属学部・研究科の学務係または学務部留学交流推進課で資料をもらい、確認してください。

(2) 左記(1)以外の目的(観光旅行等)で渡航する学生の皆さん

少なくとも「治療・救援費用」、「賠償責任費用」については、必ず十分な補償内容の海外旅行保険に加入してください(クレジットカード付帯の保険は原則不可)。最低でも、「治療・救援費用」の補償額が3,000万円以上、「賠償責任費用」については補償額が保険会社の上限補償金額の保険に加入することを推奨します。(ただし、3,000万円以上の海外旅行保険加入が、事故にかかる費用を確実に補償するものではありません。)

あわせて、緊急時の対応を強化するため、危機管理サービスに加入していただくことができます(推奨)(ただし、私事旅行のうち、親族が同行するもの及び留学生の一時帰国については対象外)。この危機管理サービスにより、渡航中、24時間365日「国際ホットライン」による相談サポートを受けることができます。危機管理サービスの詳細(費用・申し込み方法等)については、学務情報システムから資料をダウンロードしてください。

2 「海外渡航計画書」の提出

目的・理由にかかわらず、海外へ渡航する場合は、必ず事前に所属学部・研究科の学務係に「海外渡航計画書」を提出してください。

「海外渡航計画書」は学務情報システムの【海外渡航登録】から、渡航先や渡航目的、緊急連絡先などを入力して作成してください。作成後は、忘れずに「海外渡航計画書」をPDF出力して印刷し、所属学部・研究科の学務係に提出してください。

留学中に気を付けること

「安全のための行動三原則」をしっかり守ろう!

1) 目立たない

目立たない服装や、慎んだ行動をとることが危険を回避することにつながります。

2) 行動をパターン化せず、察知されない

外出時間やルートの固定化、長期の不在等には十分な注意を。

3) 常に用心を怠らない

慣れは禁物。自分ではどんなに現地に慣れてきたと思っても、周囲からは日本人として見られているものです。日頃から携行品に細心の注意を払い、後ろを振り向く習慣を身につけるようにしましょう。

留学体験談

これ以外の留学体験談は、ホームページで Check!

[\(HP\)「新潟大学 国際交流・留学」](#)⇒[「海外への留学」](#)⇒[「留学体験談」](#)

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/student/>



ショートプログラム (オタゴ大学英語研修)

農学部 谷口 裕城 さん

私はニュージーランドのオタゴ大学で約40日間の英語研修に参加しました。

語学力の向上と異文化交流・体験の2つが本研修に参加しようと思った主な理由です。海外の文化を体験し自分の価値観を見直すことでより精神的に豊かな生活を送りたい、という考えが以前からあり、海外の文化を体験する手段としてホームステイがとても良いと考えました。また、海外の文化を十分に体験するためには、現地の人と話すことのできる語学力が必要になります。以上のことと夏休み期間で大学の講義に影響が出ないことから本研修を選択しました。

午前中は事前に行うテストで分けられたクラスで英語の4技能の学習に加えプレゼンテーションなどを行いました。文法や単語の課題があり、週に1回ほど確認テストをしました。午後は先住民のマオリなどニュージーランドについて幅広く学びました。授業は月～木曜

日は15時、金曜日は12時に終わるため、その後は自由時間でした。大学の運動施設でバドミントンやフットサルをしたり、中心街に行き買い物をしたりしました。休日に見に行ったペンギンやアシカ、観光列車で味わった大自然、迫力を感じたラグビー観戦が良い思い出です。放課後に何回も行ったROB ROY DAIRYというお店のホーキーボーキー味のアイスクリームはとてもお気に入りです。

英語が上達する方法は話すことだと考え、現地ではホストマザーやルームメイトの中国人留学生と積極的に会話をしました。家に帰ったらその日の出来事や学校で学んだことを、食事中には社会的な話題や各国の文化について話しました。単なる英語の実践ではなく、異文化を背景に持つ人の考え方を学ぶことができました。

最低限の英語力は必要になりますが英語は現地でもかなり上達するので、最も必要になるのは精神力だと思います。私は渡航後直ぐに体調を崩して3日ほど寝込みとても不安になりました。

他にも初めて経験する困難が多くありましたが、気負わない・楽しむという気持ちが大事だと感じました。最後になりましたが、皆様の留学が有意義な時間になるように願っています。



ショートプログラム (西シドニー大学国際交流プログラム)

工学部 スコット瑠玖オオシマ さん

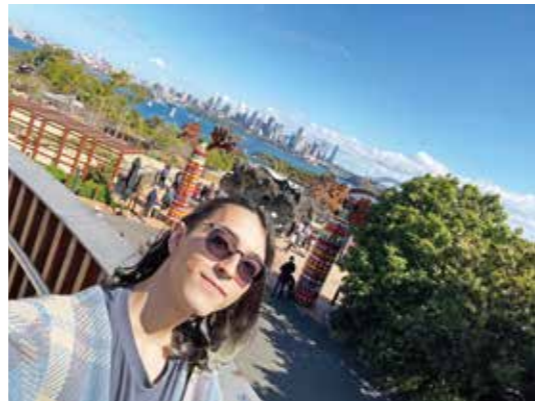
2023年夏、私は西シドニー大学の国際交流プログラムに参加しました。この経験は未踏の南半球で新しい冒険を求め、広い視野を得るためのものでした。西シドニー大学では、私は基本的な英会話スキルと持続可能な開発目標(SDGs)についての理解を深めました。この機会を通じて、地球の未来に向けて私たちが果たすべき役割を考えることができ、非常に有益な時間となりました。

シドニーに行った最も印象的だったのは、オーストラリア固有の生態系でした。多様で美しい自然環境に触れ、オーストラリアの人々が環境保護に対して熱心であることを感じました。未知の植物や鳥たちとの出会いから、私たちが環境保護に取り組む必要性を再認識しました。この経験はSDGsに対する理解を深め、地球全体への貢献の大切さを強く感じさせられました。

さらに、オーストラリアでは異なる文化を持つ人々が共存し、町の豊かさを生み出しています。異なるバックグラウンドを持つ人々がお互いを尊重し、温かく迎え入れる様子に感銘を受けました。異文化交流が日常の一部となっており、多様性を受け入れる姿勢が根付いていることが分かりました。初めて海外に渡航する人でもなじみやすい環境で、現地の人々とのコミュニケーションは非常に楽しく、英語スキルの向上を感じました。これにより、自分の言葉で考えを明確に表現できるようになり、英語に対する自信が飛躍的に向上しました。

この交流プログラムは私にとって、言語スキルの向上だけでなく、持続可能性への理解や異文化への開かれた心を育む上での重要な一歩となりました。オーストラリアでの貴重な経験は、将来のキャリアや人生においても大いに役立つでしょう。

海外未経験者でも楽しめ、充実した経験が得られる西シドニー大学の交流プログラムをお勧めします。



ショートプログラム (韓国サマーセミナー)

人文学部 佐藤 光太郎 さん

私が韓国に行きたかった理由は好きなK-POPを堪能すること、韓国ドラマで見た町並みに憧れていたということ、韓国の人々を知りたかったということです。韓国は過去も現在も日本とは切っても切れない関係にあります。実際に行ってみると思っていたこととのギャップを感じることも多くあります。百聞は一見に如かず。自分の五感で実際に体感することの重要性を改めて感じることができました。

授業は朝から昼過ぎまであります。授業形態は日本人10人ほどで、すべて韓国語で進みます。私は韓国語ビギナーで初級クラスだったため、最初はとて混乱しましたが、日がたつにつれだんだん慣れていきました。ですので、留学前の語学レベルは心配りません。どれくらい語学力が向上するかは、周りに韓国語が溢れているのでやる気次第です。午後は2日に1日は特別授業で、もう1日は文化体

験でした。特別授業では、K-POPや韓国ドラマなどから実用的な韓国語を学びます。文化体験では、観光、文化体験をします。漢陽大学の同年代のチューターもついてくれ、韓国の街を案内してくれました。私の班ではチューターから別の観光スポットにも連れて行ってもらったり、夕食を一緒に食べたりするなど、とても仲良くなりました。日本に帰ってきてからも他の参加者やチューターとは交流が続いています。

私は今回のプログラムで初めて海外に行きました。日本を外から見られたのは、とても大きな成果だと思います。日本のあたりまえが他の国ではあたりまえではないこともあると気づき、あたりまえであることを大切にしようと思いました。また、言葉が通じなかったり、土地勘がなくても、なんとか打開しようと考え、ときに人の助けを借りながら行動するという自分の中でのプロセスを確立できました。

期間としては17日間でしたが、毎日が刺激的で2、3か月いたくらいの充実感・満足感を得ることができました。忘れることはないであろう、自分史上最高の8月になりました。



交換留学 (フランス・ナント大学)

法学部 前野 綾香 さん

私は、大学2年生の9月から翌年5月の2学期間、フランスのナント大学付属の語学学校であるi-FLEに交換留学をしました。留学を決めた理由は、フランス文化に関心があり初修外国語でフランス語を選んでいたり、国際機関で働く夢があり英語以外の語学力を伸ばしたかったことなど様々あります。

大学の授業はすべてフランス語で行われ、多種多様な背景を持つ学生と積極的にディスカッションをしたり、プレゼンをしたりする機会が多くありました。また、歴史、音楽等から選択できる授業もあり、私は「食文化」の授業を履修しました。授業では、自国の食文化を話したり、ワインやチーズの試飲・試食をする機会があり、フランスだけでなくフランス以外の食文化もより深く知ることができたと思います。

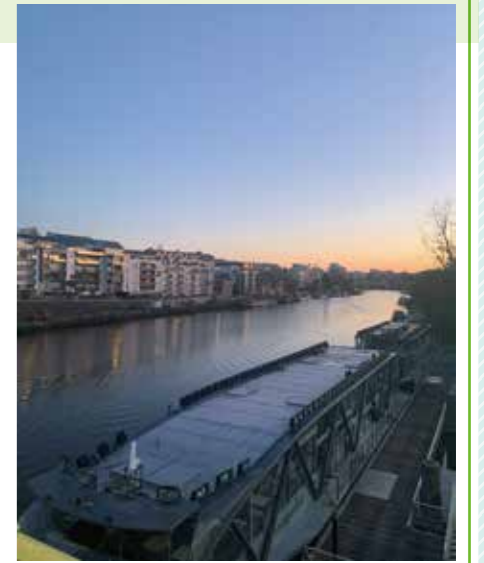
ナントは東西南北に路面電車が走っているため、気軽にいろいろな場所に行くことができます。その

ため、放課後はよく友人と散策や、公園で勉強したりしていました。またフランスは美術館や博物館が学生料金で安く入場できるので、美術館に行き作品紹介をフランス語で読むことを日課にしていました。

留学当初は、フランス語のスピードに慣れず、会話もたどたどしいものでした。特に、発音に関しては、日本語にない発音があるので苦労しました。しかし、何度も発音の練習や、外に出ていろいろな人と出会い、話をするを通じて、徐々に自信を持ち、日常会話や議論を問題なくできるようになりました。

留学中は、コロナ収束前のため規制があったり、年金改革に伴うストライキが多発したりと様々なトラブルに見舞われましたが、それら全部含めてかけがえのない経験だったと思います。留学を決めなかったら出会えなかった人に会えたことは私の一生の宝物です。

このように留学でしか得られない経験がたくさんあると思うので、少しでも留学に興味があったら、ぜひ挑戦していただきたいです!



交換留学 (アメリカ・カリフォルニア州立大学ソノマ校)

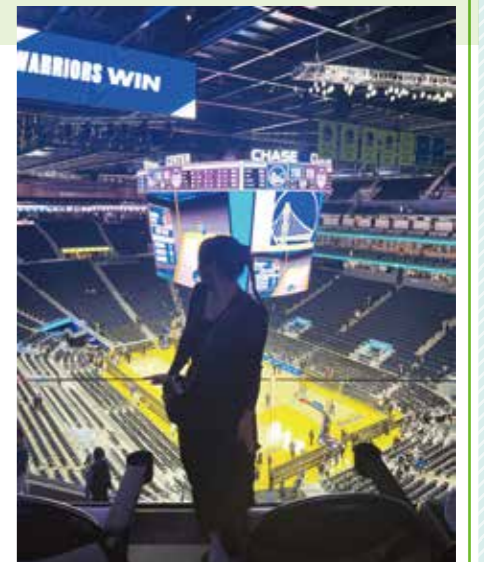
人文学部 岡村 優乃 さん

留学先は、カリフォルニア州立大学ソノマ校で、1学期間の留学でした。自然豊かな大学で学業に集中したかったためこの大学を選びました。留学の目的は、英語力の向上、ジェンダーの分野の学びを深めること、英米文化について文学作品の分析や研究、捉え方の方法を学ぶことです。現地の学生とコミュニケーションを取りながらアメリカの大学で授業を受けて生活することは長年の夢だったのでこのような機会に恵まれ、すごく幸せでした。

留学先では、英米文学とジェンダーに関する授業を履修しました。英米文学は、新潟大学での専攻でもあり、文学作品のテキスト分析やプレゼンを行いました。ジェンダーの授業では、文献や本をもとにグループでの意見交換を行い、LGBTQやクィアに関する重要な概念について学びました。毎回の授業の予習・復習、週末課題、学期中3回の定期課題と、

平日は勉強でとても大変でした。その分、休日は学校のジムに行ったり、友達と出かけたり、寮で映画を見たりと充実した日々を過ごしていました。また、ソノマ校には留学生と現地の生徒を繋ぐバディプログラムがあり、私は素晴らしいバディと出会うことができました。語学は、リスニングとリーディングは特に伸びた感じしていて、スピーキングについても友達と日常会話ができるくらいには上達したと感じています。

寮での共同生活や、ハロウィン、Thanks Giving、クリスマスなどの文化を友達と一緒に体験したり、旅行へ行ったり、いろいろと経験しました。また、卒業では、自分の専攻につながるより深い学びができたと感じ、卒業論文でも、留学中の学びを生かして取り組みたいと思っています。留学で現地の生活や文化の違いを体験することができ、テキストだけでは知ることのできないリアルな英語に触れることができます。そんな体験をしたい人はぜひ留学に挑戦してみてください。



トビタテ!留学 JAPAN 新・日本代表プログラム (スウェーデン・アメリカ)

第15期生 経済学部 今井 咲希 さん

私は「女性と社会との架け橋をビジネスで作りたい」という夢があります。高校時代の留学をきっかけに、売春で生活するフィリピン女性を支援する活動に携わるようになり、持続可能な支援を志し19歳で起業しました。夢の実現のため、約半年間、女性の社会進出が進んでいるスウェーデンとアメリカで、女性が活躍する社会をテクノロジーで実現するソーシャルビジネスを実践的に学ぶ留学でトビタテに採用され、現在1か国目のスウェーデンに滞在しています。トビタテでは、自己の主体性を尊重されるイノベーターコースを選択し、現地のスタートアップ企業でのインターンシップや自分自身のビジネスを構築するための内容で留学計画を立てました。

現在、スウェーデンでは、女性や移民女性のエンジニア教育を推進するITスタートアップ企業でインターンシップとして働き、ワークショップやPOPUVの開催を手伝ったり、日本を含めアジアのトレンドリサーチや就労支

援などを担当しています。多くの会社訪問やイベントにも参加したことにより、そこで出会った仲間達と共に女性のリーダーシップに焦点を当てたプロジェクトを立ち上げることができました。

内容は、主に女性の起業家を訪問し彼女たちが起業という選択をとる際にどのようにして子育てや自分自身の生活とのライフバランスをとっているのかを調査し、その統計データを自己啓発を目的としたアプリとして開発することです。進行中でもあるこの活動により、働き方や女性の生き方、個々の尊重、意見など、さまざまな環境の中で見えてくる価値観の違いを学ぶことができましたと同時に、フィリピン社会構造の課題について再認識しました。この後のアメリカでは、スウェーデンでの経験を基にワークショップの開催を予定しています。

留学は予想していたものとは少し異なる現実でした。予定通りに進まないことや、自分の英語力や能力の不安に苦しむことも多かったです。しかし、そうした時こそ自分と向き合い、今の大学生生活期間で留学できることの貴重さや、留学を決意した目的を改めて考えるように

しました。今しかできないことに挑戦できる環境にとても幸せを感じています。

